

# 鳥取県医師会報

MONTHLY JOURNAL OF TOTTORI MEDICAL ASSOCIATION

May 2022  
No.803

5



大山山頂雲海と朝日 photo提供者 倉吉市 はしもと整形外科 橋本達宏先生

## 巻頭言

### 地域医療のさらなる充実を、地域医療介護総合確保基金

## 諸会議報告

### 産業医研修会のテーマが決まる

産業医部会運営委員会

## 県医よりの通知

速報 医療機関における新型コロナウイルス感染拡大防止のための院内感染対策における基本的な対策と特に注意すべきポイント（鳥取県版新型コロナウイルス院内感染対策ガイドライン）の見直しについて（通知）

## Joy! しろうさぎ通信

### 女性医師の意識調査結果と女性医師活躍への期待

病院だより 鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター

### 高度救命救急センターの指定を受けて

## 医の倫理綱領

医学および医療は、病める人の治療はもとより、  
人びとの健康の維持もしくは増進を図るもので、  
医師は責任の重大性を認識し、  
人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。

1. 医師は生涯学習の精神を保ち、つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす。
2. 医師はこの職業の尊厳と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように心掛ける。
3. 医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める。
4. 医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす。
5. 医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める。
6. 医師は医業にあたって営利を目的としない。

公益社団法人 日本医師会

## 表紙によせて



### 大山山頂雲海と朝日

倉吉市 はしもと整形外科 橋本 達宏

御来光を求めて大山に登る回数が増えると、太陽はきれいに見えなくても、雲海に遭遇する機会は増えます。今回は飛行機雲もご一緒できました。

## 表紙写真を募集しています

鳥取県医師会会報編集委員会では、会員の皆様から医師会報の表紙を飾る写真を募集しています。

応募要項をご参照の上、ご応募くださいますようお願いいたします。

### 応募要項

1. 鳥取県内を撮影した写真（横サイズ、カラー掲載となります。）  
タイトルをつけてくださいますようお願いいたします。  
※数枚送付の場合は、選定を御一任頂けますようお願い申し上げます。
  2. お顔写真  
※撮影が難しい場合はご相談ください。
  3. 原稿（表紙写真の感想100字程度）
- 以上3点を郵送またはE-mailでご寄稿ください。  
また、掲載時期につきましては編集委員にご一任くださいますようお願いいたします。

### 【応募先】

〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会 会報編集委員会 宛て  
TEL (0857)27-5566 FAX (0857)29-1578 E-mail: kouhou@tottori.med.or.jp

# 鳥取県医師会報

## CONTENTS

令和4年5月

### 巻頭言

地域医療のさらなる充実を、地域医療介護総合確保基金 常任理事 明穂 政裕 1

### 鳥取県医師会代議員及び同予備代議員

3

### 理事会

第1回理事会 4

第1回常任理事会 8

### 諸会議報告

学校検尿対策委員会 11

「鳥取県糖尿病対策推進会議」「鳥取県糖尿病療養指導士認定機構統括委員会」合同会議 15

産業医部会運営委員会 18

令和4年度学校保健講習会 理事 岡田 隆好 20

### 県医よりの通知

速報 医療機関における新型コロナウイルス感染拡大防止のための院内感染対策における基本的な対策と特に注意すべきポイント(鳥取県版新型コロナウイルス院内感染対策ガイドライン)の見直しについて(通知) 22

### 日医よりの通知

医療機関の宿日直許可申請に関する相談窓口の設置について(周知依頼) 24

経済構造実態調査の事前周知について 24

医師の働き方に関する政省令等について(情報提供) 25

### お知らせ

第53回全国学校保健・学校医大会の開催について(予報) 28

### 鳥取県医療勤務環境改善支援センターからのお知らせ

鳥取県医療勤務環境改善支援センター通信 29

### Joy! しろうさぎ通信

女性医師の意識調査結果と女性医師活躍への期待

鳥取県医師会理事 女性医師支援委員会委員 松田 隆子 30

### おしどりネット通信

安来市立病院

米子市 辻田耳鼻咽喉科医院(NPO法人おしどりネット理事長) 辻田 哲朗 32

## 病院だよりー鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センターー

高度救命救急センターの指定を受けて

鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター 診療科長 教授 上田 敬博 33

## 感染症だより

鳥取県感染症発生動向調査情報（月報） 35

## 歌壇・俳壇・柳壇

帰郷 倉吉市 石飛 誠一 36  
川柳 鳥取市 平尾 正人 36

## フリーエッセイ

breakthrough  
ブレイクスルー 特別養護老人ホーム ゆうらく 細田 庸夫 37  
地図の上に線を引く（44） 上田病院 上田 武郎 38  
趣味を持つ 医療法人元町病院 介護老人保健施設 花の里 井田 拓夫 39  
君はクリスティアーノ・ロナウドか？ 八頭町 村田 勝敬 40

## 私の一冊・私のシネマ

「天才の憧憬ーダビンチの陰翳」 米子市 いけだ整形外科クリニック 池田 正樹 41  
「犬が伝えたかったこと」 米子市 ファミリークリニックせぐち小児科 瀬口 正史 42  
「ウルフズ・コール」 監督：アントナン・ボードリー  
伯耆町 なかむら医院 仲村 広毅 43  
「音楽と映画」 南部町 法勝寺内科クリニック 三上 真顯 44

## 地区医師会報だより

マラソン 米子市 小酒外科医院 小酒 慶一 46

## 東から西からー地区医師会報告

東部医師会 広報委員 松田 裕之 49  
中部医師会 広報委員 森廣 敬一 50  
西部医師会 広報委員 仲村 広毅 51  
鳥取大学医学部医師会 広報委員 原田 省 52

## 県医・会議メモ

56

## 会員消息

57

## 会員数

59

## 保険医療機関の登録指定、廃止等

59

## 編集後記

編集委員 武信 順子 60

# 会員各位

## 令和4年度鳥取県医師会 会員総会ご案内

### —特別講演には鳥取県知事 平井伸治氏!!—

公益社団法人 鳥取県医師会

会員の皆様におかれましては、時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、令和4年度鳥取県医師会会員総会を下記により開催いたしますので、多数ご参加くださるようご案内申し上げます。

なお、当日は、新型コロナウイルス感染症予防対策の環境整備を行った上で、開催いたします。

#### 記

1. 期 日 令和4年6月18日（土）午後5時
2. 場 所 ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間」 鳥取市今町2丁目153
3. 日 程
  - 1) 開 会
  - 2) 会長挨拶
  - 3) 表 彰
  - 4) 特別講演（17：15～18：00）  
『鳥取県における新型コロナウイルス感染症への取り組みの2年間と今後』  
講師 鳥取県知事 平 井 伸 治 氏
  - 5) 鳥取医学賞講演
  - 6) 鳥取医学雑誌新人優秀論文賞講演
  - 7) 閉 会

※閉会后、例年行っておりました祝賀懇親会は、行いません。

当日は、定例代議員会を午後4時から開催します。

※平井知事の講演につきましては、後日YouTube「鳥取県医師会チャンネル」にて「限定公開」いたします。

「限定公開」ですので視聴用のURLが必要となります。視聴を希望される会員の皆様は、視聴可能なURLをお送りしますので、鳥取県医師会事務局（kenishikai@tottori.med.or.jp）までご連絡ください。





## 地域医療のさらなる充実を、 地域医療介護総合確保基金

鳥取県医師会 常任理事 明 穂 政 裕

団塊の世代が75歳を迎える2025年を展望し、病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進、医療・介護従事者の確保・勤務環境の改善等、「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアシステムの構築」が急務の課題である。このため、平成26年から消費税増収分を充てた財政支援制度（地域医療介護総合確保基金）が創設され、各都道府県は、計画を作成して、事業を実施することとなった。県は二次医療圏を、市町村は日常生活圏を念頭に区域を設定する。令和3年度の当県への配分額は5.43億円であった。平成27年よりの総額は85億円に達した。さらに令和4年度の事業実施に向け、昨年末に県内の医療機関に対して要望照会が実施され、要望額が取りまとめられた。医療審議会（3月15日）、地域医療対策協議会（3月18日）において審議の上、要望額から基金の趣旨に合致しない等の理由により対象外となる事業分を除いた額を本県の要望額とするため協議された。その結果令和4年度要望額は、6.98億円（60事業）と決定した。厚生労働省へ要望額が報告され、ヒアリングを経て、秋の内示を待つこととなる。

事業区分Ⅰ．地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業には、1.12億円（8事業）。主なものは病床の機能分化連携として急性期医療充実のための医療機関の設備整備（医療機関）に0.63億円。ICTの活用による医療連携（おしどりネット）に0.45億円。

事業区分Ⅱ．居宅等における医療の提供に関する事業医療1.63億円（13事業）。訪問看護師の確保・育成支援（訪問看護ステーション等）に0.55億円。在宅医療に係る患者と在宅歯科医療機関との調整・相談業務を担う在宅歯科医療機関の運営（歯科医師会）に0.20億円。在宅医療推進のための設備整備（医療機関、訪問看護ステーション等）に0.16億円。重度障がい者・難病患者の受け入れ施設の医療機器整備（医療機関）に0.19億円が充てられた。

事業区分Ⅳ．医療従事者の養成・確保に関する事業（3.72億円、38事業）。看護師等養成施設の運営（養成施設）に0.52億円。鳥取大学医学部地域医療学講座の運営（鳥取大学）に0.37億円。病院内保育所の運営（医療機関）に0.34億円。医師事務作業補

助者等の増員（医療機関）に0.33億円。新人看護職員研修事業（医療機関）に0.11億円。医療従事者が活用するシミュレーションセンターの設備整備（医療機関）に0.25億円。腎センターの運営（鳥取大学医学部附属病院）に0.10億円。

事業区分Ⅵ．医師の働き方改革、勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業（医療機関）に0.51億円。今後とも各医療機関や圏域での利活用が進められることが期待される。

令和4年度は新規3事業が採択された。

事業区分Ⅳ．鳥取大学医学部附属病院腎センター支援事業（実施主体、鳥取大学医学部附属病院）。同病院が新設する「腎センター」の運営を支援することにより、腎臓病治療の充実と専門医の育成で県内の腎疾患の医療提供体制の強化を図る。県内で不足している透析専門医、腎臓専門医の育成により腎疾患に係る医療提供体制の強化が可能となり育成した医師の派遣により専門医の偏在是正、かかりつけ医との病診連携を推進、広報活動による腎疾患に対する県民の意識醸成を図る。

事業区分Ⅳ．東部保健医療機関の医療従事者のためのシミュレーションセンター整備事業（実施主体、鳥取県立中央病院）。同病院に設置されたシミュレーションセンターに医療技術向上のためのトレーニング機器を導入することにより、医療従事者が訓練できる環境を整備し、各種研修を実施する。トレーニング機器を用い、センター長、指導医、指導看護師が、心臓・腹部超音波検査手技を中心とした心臓・腹部診療、消化器内視鏡治療などの研修を実施する。シミュレーションセンターの訓練環境整備により、初期・後期研修医、看護師等医療人材の一層の充実を図る。東部圏域の医療機関の医療従事者のトレーニング機会が増加し、より安全・安心な医療の提供が可能となる。

事業区分Ⅱ．重度障がい者・難病患者居宅等療養支援事業（実施主体、同愛会博愛病院）。医療必要度の高い重度障がい者・難病患者を対象とした入所施設を建設し、各患者の体調を把握するシステム（入居患者のベッドサイドモニターを通じて、スタッフステーション内のセントラルモニターから各患者の心電図・血圧・バイタルサイン等の確認と人工呼吸器等のアラーム管理を行う医療機器）を整備する。人工呼吸器、在宅酸素療法、中心静脈栄養・経管栄養等の医療的ケアを必要とする者が容態変化を即時に把握・対応する体制が整った入所施設で、安心・安全な療養をおくれる。また自宅での療養が困難なため、圏域外の入所施設への転出や療養病床で長期にわたる入院をせざるを得ない患者に対する受け皿として、西部圏域で療養できる地域づくりを進める。本制度により、コロナ禍にあっても鳥取県全体の医療の設備と人材面でのさらなる充実が望まれる。



# 鳥取県医師会代議員及び同予備代議員

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

## 【代議員】

### 東部医師会 (20名)

松浦喜房	石谷暢男	吉田泰之	尾崎真人	安陪隆明
池田光之	乾俊彦	大竹実	尾崎隆之	尾崎舞
加藤達生	小坂博基	高須宣行	高橋浩士	深澤哲
藤田直樹	松田裕之	皆木真一	森下嗣威	渡邊健志

### 中部医師会 (8名)

松田隆	安梅正則	森尾泰夫	野田博司	福嶋寛子
福羅匡普	大谷英之	濱吉麻里		

### 西部医師会 (19名)

根津勝	岡空輝夫	安達敏明	仲村広毅	市場和志
金田周三	川谷俊夫	佐古博恒	角賢一	瀬口正史
瀧田寿彦	野坂美仁	長谷川真弓	廣田裕	吹野陽一
服岡泰司	福谷幸二	藤瀬雅史	細田明秀	

### 医学部医師会 (3名)

中村廣繁	黒崎雅道	千酌浩樹		
------	------	------	--	--

## 【予備代議員】

### 東部医師会 (20名)

麻木宏栄	石井泰史	石河利一郎	上山高尚	大石正博
大谷英之	岡田睦博	河上真巳	川口馨	小濱美昭
杉本勇二	田中久雄	田中開	中安弘幸	西浦清一
橋本篤徳	松下公紀	三木統夫	山本尚	山脇美香

### 中部医師会 (8名)

山本敏雄	大津敬一	岡田耕一郎	三原聡	門脇義郎
山本了	岡本賢	野口圭太郎		

### 西部医師会 (19名)

大谷正史	越智寛	面谷博紀	孝田雅彦	小酒慶一
下山晶樹	武本祐	谷口哲也	永井琢己	長田郁夫
野村哲志	廣江ゆう	福井毅顕	船木聡	細田淑人
松澤充子	南崎剛	山田武史	脇田邦夫	

### 大学医師会 (3名)

萩野浩	磯本一	藤原義之		
-----	-----	------	--	--

## 第 1 回 理 事 会

- 日 時 令和4年4月7日(木) 午後4時10分～午後6時5分
- 場 所 鳥取県医師会館 鳥取市戎町
- 出席者 渡辺会長、清水・小林両副会長  
明穂・岡田・瀬川・辻田・三上各常任理事  
太田・秋藤・松田・岡田・廣岡・來間各理事  
新田・山崎両監事  
石谷東部医師会長、松田中部医師会長、根津西部医師会長

### 協議事項

#### 1. 人事異動等に伴う各種委員会委員の交代について

県、鳥大医学部医師会の人事異動に伴い、下記のとおり新たに委員へ委嘱した。

##### 【鳥取県】

- ・医療安全対策委員会：県医療・保険課  
米田裕一課長
- ・医療倫理委員会：医療政策課 壱岐幸子課長

##### 【鳥大医学部医師会】

- ・情報システム運営委員会：鳥大医学部脳神経外科学教授 黒崎雅道先生
- ・介護保険対策委員会：鳥大医学部脳神経内科学教授 花島律子先生

#### 2. 保険医療機関指導計画打合せ会の出席について

4月21日(木)午後4時10分より県医師会館において開催する。会長、副会長、常任理事が出席する。

#### 3. 生活保護法による指定医療機関個別指導計画合同打合せ会の出席について

4月21日(木)午後5時より県医師会館におい

て開催する。会長、副会長、常任理事並びに東部医師会担当理事が出席する。

#### 4. 中国四国医師会連合医療保険分科会の出席について

5月14日(土)午後2時よりWebで開催される。瀬川・三上両常任理事、秋藤理事が出席する。

#### 5. 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会の出席について

5月27日(金)午後2時よりWebで開催される。渡辺会長(日医勤務医委員会委員長)、永島・廣岡両理事が出席する。

#### 6. 医師会組織強化担当役員連絡協議会の開催について

日本医師会から開催要請があり、5月22日(日)午後2時30分よりANAクラウンプラザホテル米子において開催する。日医からは松本常任理事が参加される。渡辺会長、清水・小林両副会長、明穂常任理事、廣岡・永島両理事、地区医師会長及び事務局長、原田鳥大医学部附属病院長、中村鳥大医学部長、能勢前学長が出席予定である。

## 7. 鳥取県医師会役員並びに裁定委員の選任（選挙）の公示について

ホームページ及び会報4月号（4月15日付）で公示する。立候補する者は、会員3名以上10名以内の推薦を受けて、選挙期日の16日前の6月2日（木）午後5時までに県医師会長宛に文書で届出をお願いします。

## 8. 鳥取県医師会第208回定例代議員会の開催について

6月18日（土）午後4時よりホテルニューオータニ鳥取において開催する。

## 9. 鳥取県医師会第208回定例代議員会の付議事項について

2つの付議事項、（1）令和3年度決算の承認、（2）令和5年度会費及び負担金の賦課徴収について議案を上程し審議を諮る。

## 10. 会員総会の開催について

6月18日（土）午後5時5分よりホテルニューオータニ鳥取において開催する。各種表彰、鳥取医学賞講演、鳥取医学雑誌新人優秀論文賞講演、特別講演を予定しているので、多数の参加をお願いします。

## 11. 鳥取医学雑誌投稿規程の改正について

先般開催した鳥取医学雑誌編集委員会において協議を行った投稿規程の改正について承認した。

## 12. 母体保護法指定医師新規申請の承認について

鳥取大学医学部医師会経由で新規1名の申請があった。協議した結果、承認した。

## 13. 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構認定更新の対象となる研修会の承認について

令和4年度糖尿病療養指導勉強会として、中海エリア糖尿病療養研究機構（米子市）で開催される下記5回の研修会を承認した。

・6/9（木）、7/14（木）、8/18（木）、9/8（木）、10/13（木）の計5回、何れも午後6時30分

## 14. 名義後援について

下記の演奏会を承認した。

・ミックス室内オーケストラ演奏会（5/15（日）米子市公会堂）

## 15. 日医生涯教育制度認定申請の承認について

地区医師会などから申請の出ている講演会について協議の結果、何れも妥当として認定した。

## 16. 事務局職員人事及び事務分担の変更について

4月1日付けで岡本事務局長、谷口参与の就任と、職員1名を新規採用したことに伴い、事務分担を変更した。

## 17. 職員の給与（定期昇給）について

県の給与表を参考にし、職員の定期昇給を承認した。

## 報告事項

### 1. 第2回鳥取県地域医療対策協議会の出席報告（明穂常任理事）

3月18日、テレビ会議で開催された。議事として、（1）令和4年度鳥取県地域医療介護総合確保基金（医療）、（2）高度救命救急センターの指定、（3）臨床研修病院の研修医募集定員の配分について協議が行われた後、（1）指定勤務期間内の医師の配置状況、（2）鳥取県医師確保奨学金制度一覧及び貸付状況、（3）医師の働き方改革に向けた県の対応、（4）鳥取県外来医療計画に係る届出状況、（5）脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業について報告があった。

### 2. 第2回鳥取県・鳥取市精度管理専門委員会の出席報告（小林副会長）

3月18日、書面会議で開催された。衛生検査所

の現状についての報告があり、議事として、(1) 令和3年度衛生検査所立入検査等の結果、(2) 令和3年度鳥取県臨床検査精度管理調査の実施報告について審議が行われた。

### 3. 第206回臨時代議員会の開催報告

〈明穂常任理事〉

3月19日、ホテルニューオータニ鳥取において開催した。令和4年度事業計画及び取支予算について報告があった後、議事として、(1) 令和3年度会費減免申請の承認、(2) 令和4年度会費減免申請の承認、(3) 定款の一部改正案、(4) 会費賦課徴収規則の一部改正案の4議案について審議が行われ、何れも原案どおり承認・可決された。

内容の詳細は、別途会報に掲載する。

### 4. 鳥取医学雑誌編集委員会の開催報告

〈廣岡理事〉

3月23日、テレビ会議で開催した。議事として、(1) 鳥取医学雑誌発行状況、(2) 投稿状況、(3) 投稿論文数の減少対策について報告があった後、(1) 鳥取医学雑誌49巻掲載内訳、(2) 「第31回鳥取医学賞」「第9回鳥取医学雑誌新人優秀論文賞」候補論文の照会、(3) 「投稿規程」「査読・編集要項」、(4) 査読、(5) 任期満了に伴う委員の継続などについて協議を行った。

内容の詳細は、別途会報に掲載する。

### 5. 第1回鳥取県医療費適正化計画策定委員会の出席報告〈來間理事〉

3月24日、Webで開催された。議事として、第三期鳥取県医療費適正化計画の進捗状況などについて協議が行われた。令和5年度特定健診実施率の目標値は70%以上であり、未受診者への受診勧奨はがきの送付、個別訪問、個別チラシに取り組む。糖尿病重症化予防のためにも特定健診・特定保健指導の実施率を上げることが大切である。予備群あるいはその前段階からの対策が必要であ

るとのことであった。

### 6. 鳥取県医療審議会医療法人部会の出席報告

〈瀬川常任理事〉

3月24日、県庁において開催された。議事として、医療法人の設立認可申請（東部2件）について審議が行われ、承認された。また、非医師の理事長選出の認可に係る役員変更届等の提出状況について報告があった。

### 7. 第12回鳥取県新型コロナウイルスワクチン接種体制協議会・第158回鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部 合同会議の出席報告

〈渡辺会長〉

3月25日、県庁において開催され、地区医師会長とともに出席した。議事として、(1) ワクチン接種の推進、(2) 県内の感染状況などについて報告、協議が行われた。3月25日の国通知で、ファイザー社製ワクチンを使用した12歳以上17歳以下の方が新たに追加接種の対象となった。

### 8. 中国四国医師会連合常任委員会の出席報告

〈明穂常任理事〉

3月26日、Webで開催され、渡辺会長、清水副会長とともに出席した。議事として、(1) 中央情勢、(2) 日本医師会財務委員会、(3) 日本医師会議事運営委員会について報告があった後、(1) 中国四国医師会連合医療保険分科会〈5月14日(土)午後2時 Web〉、(2) 各県医師会(鳥取県・徳島県・広島県)からの提出議題などについて協議が行われた。また、ウクライナ国民への医療支援については、各県医師会の対応とした。今後は、6月に開催される日本医師会役員改選に関する意見交換を主議題とした会長会議が開催される予定である。

内容の詳細は、別途会報に掲載する。

## 9. 日本医師会臨時時代議員会の出席報告

〈渡辺会長〉

3月27日、Webで開催され、清水副会長とともに出席した。中川会長の挨拶、報告「令和4年度日本医師会事業計画及び予算」の後、議事3件、(1) 令和3年度日本医師会会費減免申請、(2) 日本医師会定款・諸規程一部改正、(3) 医の倫理綱領一部改定について審議が行われ、何れも可決成立した。また、代表質問18件が寄せられ、それぞれ担当役員より答弁がなされた。

内容の詳細は、日医ニュースに掲載されるので、御覧いただきたい。

## 10. 都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会の出席報告〈岡田理事〉

3月30日、Webで開催された。議事として、(1) 医療的ケア児支援法（医療的ケア児支援センター等、学校における医療的ケアの充実、保育所等における医療的ケア児への支援）、(2) 大阪府豊中市の取り組み、(3) 令和4年度診療報酬改定（医療的ケア児関係）、(4) 小児在宅ケア検討委員会答申についての説明と協議が行われた。

内容の詳細は、別途会報に掲載する。

## 11. 情報システム運営委員会の開催報告

〈辻田常任理事〉

4月6日、Webで開催した。議事として、「サ

イバーセキュリティ対策」について協議を行った結果、まずは研修会を実施して「知識習得」から始めることとした。講師は、近藤博史先生（前情報システム運営委員会委員）にお願いし、日程等については早急に調整し開催に向けて準備していく。

内容の詳細は、別途会報に掲載する。

## 12. 鳥取県医師会代議員及び同予備代議員の選出結果について〈明穂常任理事〉

地区医師会より選出していただいた本会代議員及び同予備代議員について、それぞれ定数の50名（東部20名、中部8名、西部19名、大学3名）の名簿の提出があり、承認した。任期は、令和4年4月1日からの2年間である。会報に名簿を掲載する。

## 13. その他

\*日医より例年どおり地球温暖化防止対策の実施（5/1～10/31）について周知依頼があった。日医会館へ来館の際は、夏の軽装（クールビズ）でもよい。本会としても同様の対応とするので、理事会、各種委員会等で県医師会館へ来館の際は、クールビズで願います。

## 第 1 回 常 任 理 事 会

- 日 時 令和 4 年 4 月 21 日 (木) 午後 5 時 45 分～午後 6 時 40 分
- 場 所 鳥取県医師会館 鳥取市戎町
- 出席者 渡辺会長、清水・小林両副会長  
明穂・岡田・瀬川・辻田・三上各常任理事、秋藤理事

### 協議事項

#### 1. 令和 4 年度社会保険医療担当者指導員の推薦 について

任期満了に伴い県医療・保険課より推薦依頼がきている。内科 9 名、外科 1 名、整形外科 1 名、小児科 1 名、耳鼻咽喉科 1 名、精神科 1 名、眼科 1 名、皮膚科 2 名、泌尿器科 2 名、脳外科 1 名、産婦人科 2 名の計 22 名を推薦する。任期は、令和 4 年 6 月 1 日から令和 5 年 5 月 31 日までである。

#### 2. 鳥取県学校保健会の理事の選出について

任期満了に伴い県教育委員会より依頼がきている。渡辺会長を選出した。

#### 3. 「鳥取県助産師出向支援事業」協議会委員の 推薦について

任期満了に伴い推薦依頼がきている。小林副会長を推薦する。

#### 4. 鳥取県心といのちを守る県民運動の委員の推 薦について

任期満了に伴い推薦依頼がきている。秋藤理事を推薦する。

#### 5. 中国四国医師会連合医療保険分科会の提出議 題について

5 月 14 日 (土) 午後 2 時より Web で開催される標記分科会への提出議題について協議を行った

結果、7 項目を提出することとした。

#### 6. 医療情報研究会の開催について

5 月 16 日 (月) 午後 6 時 30 分より Web で開催する。内容は、特別講演「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策について—厚労省調査研究班の実態調査も含む—」、講師は、鳥取大学名誉教授 (前鳥取大学医学部医療情報部教授)・医療法人協和会協立温泉病院院長・日本遠隔医療学会会長 近藤博史先生。

#### 7. 禁煙指導医・講演医養成のための講習会の承 認について

下記の講演会を承認した。

- ・東部医師会禁煙指導研究会講演会 (5 月 27 日 (金) 午後 7 時 東部医師会館又は Web 視聴)

#### 8. 会員総会における「会長表彰」の決定について

6 月 18 日 (土) 午後 5 時よりホテルニューオータニ鳥取において開催する会員総会の席上、地区医師会等から推薦があった「米寿 8 名・喜寿 12 名の御祝」「会員として満 50 年以上の医業従事者 2 名・永年役員 5 名・永年職員 5 名の表彰」を贈呈することを決定した。なお、「鳥取医学賞」「鳥取医学雑誌新人優秀論文賞」については、次回理事会で決定する。

#### 9. 鳥取県医学会の開催について

6 月 19 日 (日) 午前 9 時 40 分より県医師会館に

において開催する。

#### 10. 第1回産業医研修会の開催について

7月10日（日）午後0時15分よりとりぎん文化会館において開催する。研修単位は基礎&生涯研修5単位。今年度も新型コロナウイルス感染拡大が懸念されるため、県外からの受講者はお断りする。

#### 11. 第66回中国地区学校保健研究協議大会について

8月18日（木）午前9時30分よりとりぎん文化会館において開催される標記協議会について推薦依頼等がきている（事務局：県教育委員会事務局）。下記のとおりとした。

##### (1) 班別研究協議会の指導助言者の推薦（2名）

- ・豊かな人間性を育む性に関する指導・エイズ教育  
⇒博愛病院産婦人科部長 片桐千恵子先生
- ・豊かな人間関係と社会性を育み、心の健康づくりを目指す教育活動  
⇒渡辺病院医長 竹内亜理子先生

##### (2) 共催

協議した結果、了承した。

##### (3) 負担金

協議した結果、了承した。

#### 12. 中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡協議会の出席並びに提出議題等について

8月21日（日）午前10時より広島県医師会の担当でANAクラウンプラザホテル米子において開催される。渡辺会長、瀬川・辻田両常任理事、岡田理事、石谷県小児科医会長が出席予定とする。提出議題・日医への要望については岡田理事に一任する。

#### 13. 中国地区学校保健・学校医大会の開催について

8月21日（日）午後1時より鳥取県医師会の担当でANAクラウンプラザホテル米子において開催する。研究発表者の選定については今後人選を

進めていく。特別講演は2題、(1)「医療機関と学校との連携～神経発達症（発達障がい）と要保護児童～」(講師：鳥大医学部脳神経小児科教授前垣義弘先生)、(2)日本医師会学校保健担当常任理事を予定している。

#### 14. 第53回全国学校保健・学校医大会の出席について

11月12日（土）午前10時より盛岡市において、「子どもたちの『生きる力』を育む」をテーマに開催される。渡辺会長、岡田理事が出席する。地区医師会にも案内する。

#### 15. 第31回日本医学会総会2023東京における早期事前参加登録について

令和4年10月31日までが早期事前参加登録受付期間である。11名の登録につき1名無料となる（1人25,000円）。次回理事会において全役員に早期事前参加登録の有無を確認することとした。地区医師会にも同様に早期事前参加登録をお願いしたい。

#### 16. 日本医師会からの調査協力依頼について

日医より、「経済構造実態調査」について協力依頼がきている。調査対象となった医療機関は協力をお願いする。

#### 17. 名義後援について

下記のとおり実施される公開講座について、名義後援を了承した。

- ・第1回厚生病院健康公開講座（大腸がん）〈6月26日（日）午後1時30分 倉吉交流プラザ〉
- ・第2回厚生病院健康公開講座（がんの予防・治療）〈9月中旬 倉吉交流プラザ〉
- ・第3回厚生病院健康公開講座（がんの予防・治療）〈令和5年3月上旬 倉吉交流プラザ〉

#### 18. 日医認定産業医更新申請の承認について

2名（東部1名、中部1名）より書類の提出が

あった。審議の結果、資格を満たしているため、日医宛に申請する。

#### 19. 日医認定健康スポーツ医新規・更新申請の承認について

新規3名（西部2名、大学1名）、更新4名（東部2名、西部2名）より書類の提出があった。審議の結果、資格を満たしているため、日医宛に申請する。

#### 20. 日医生涯教育制度認定申請の承認について

地区医師会などから申請の出ている講演会について協議の結果、何れも妥当として認定した。

### 報告事項

#### 1. 日本医師会広報委員会の出席報告

〈辻田常任理事〉

4月14日、Webで開催された。議事として、（1）マスコミとの関係の維持強化、（2）医療現場の声の意見収集力の強化などについて協議が行われた。（1）では、医師会に対するイメージは誤解があり、活動内容もほとんど知られていないので、繰り返し情報発信する必要がある。勤務医への広報にもなる。具体的にはマスコミ関係者との懇談会、新聞記事、番組制作に協力する。（2）

では、会員メーリングリストの活用、新入会員との懇談会を開催するなどの意見があった。

#### 2. 産業医部会運営委員会の開催報告〈秋藤理事〉

4月14日、鳥取労働局、鳥取産保総合支援センターに参集いただき、テレビ会議で開催した。議事として、（1）令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画、（2）鳥取産保総合支援センター事業、（3）令和4年度の産業保健事業（鳥取労働局）などについて協議を行った。今年度の産業医研修会は、各地区で基礎研修と生涯研修の合同とし、基本テーマを「メンタルヘルス」「熱中症対策」「職場巡視」「ハラスメント」「労災」「両立支援」とした。なお、今年度も三密回避のため定員（先着順）を設け、県外受講者はお断りする。

内容の詳細は、別途会報に掲載する。

#### 3. 第43回産業保健活動推進全国会議の出席報告〈秋藤理事〉

4月15日、Webで開催された。産業保健総合支援事業に関する活動事例報告の後、「医療機関における働き方改革—医療の質の向上を目指して—」をテーマにしたシンポジウム並びに協議が行われた。

内容の詳細は、別途会報に掲載する。



## 鳥取県学校検尿事後措置のガイドラインが策定される ＝学校検尿対策委員会＝

- 日時 令和4年2月25日（金） 午後1時30分～午後3時
- 場所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町  
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町（TV会議）  
鳥取県西部医師会館 米子市久米町（TV会議）
- 出席者 12人

議事進行：岡田隆好医師会理事

### 挨拶（要旨）

学校検尿は、糖尿病や小児慢性腎疾患患者の早期発見・早期治療に繋がる重要な事業であり、学校検尿が開始されて以降、慢性糸球体腎炎による透析患者は減少してきている。

本県においては、平成27年に笠木委員（元鳥取県医師会常任理事）が健康対策協議会内に専門委員会の設置を要望されたことに始まり、これまで県下統一システムの確立を目指して尽力されてきた。

本日は、県医師会に委員会が移管されてから初の会議開催となる。

令和4年度からの統一システムのスタートに向けて活発な議論を期待する。

### 報告

#### 1. 令和2年度及び令和3年度各地区学校検尿検査結果について

○東部：深澤 哲先生より報告。

・腎臓疾患（蛋白尿・潜血）第三次検査

※対象 学校検尿の二次検査結果+以上、一次検査結果の至急受診。但し、検査時経過観察中、治療中の該当者については計上なし。

・尿糖（糖）精密検査

※対象 学校尿検査の一次検査結果

要医療：かかりつけ医で経過観察 精検医療機関は鳥取県立中央病院小児科。

・腎臓疾患（蛋白尿・潜血）

【令和2年度】

《小学校》1市4町の学校と鳥取大学附属小学校  
尿検査者数11,580人のうち、三次検査受診者数25人で0.22%であった。三次検査の結果、放置してよい13人、要医療8人、要精密検査1人、その他1人であった。

《中学校》1市4町の学校と鳥取大学附属中学校、青翔開智中学校

尿検査者数6,021人のうち、三次検査受診者数39人で0.65%であった。三次検査の結果、放置してよい20人、要医療12人、要精密検査5人、その他2人であった。

・尿糖（糖）精密検査

《小学校》1市4町の学校と鳥取大学附属小学校  
尿検査者数11,580人のうち、糖尿病検査対象者はいなかった。

《中学校》1市4町の学校と鳥取大学附属中学校、青翔開智中学校

尿検査者数6,021人のうち、糖尿病検査受診者数2人で0.03%であった。検査の結果、要医

療2人であった。

【令和3年度】

・腎臓疾患（蛋白尿・潜血）第三次検査

《小学校》1市4町の学校と鳥取大学附属小学校

尿検査者数11,488人のうち、三次検査受診者数12人で0.10%であった。三次検査の結果、放置してよい7人、要医療4人、要精密検査1人であった。

《中学校》1市4町の学校と鳥取大学附属中学校、青翔開智中学校

尿検査者数5,921人のうち、三次検査受診者数13人で0.22%であった。三次検査の結果、放置してよい7人、要医療4人、要精密検査2人であった。

・尿糖（糖）精密検査

《小学校》1市4町の学校と鳥取大学附属小学校

尿検査者数11,488人のうち、糖尿病検査受診者数11人で0.10%であった。検査の結果、要医療3人、その他8人であった。

《中学校》1市4町の学校と鳥取大学附属中学校、青翔開智中学校

尿検査者数5,921人のうち、糖尿病検査受診者数6人で0.10%であった。検査の結果、要医療2人、その他4人であった。

○中部：河場康郎先生より報告。

【令和2年度】倉吉市と東伯郡（4町）別集計。

精検医療機関は鳥取県立厚生病院。

・腎臓疾患（蛋白尿・潜血）第三次検査

《小学校》

倉吉市：尿検査者数2,389人のうち、三次検査受診者数3人で0.13%であった。三次検査の結果、フォロー中3人であった。

東伯郡：尿検査者数2,900人のうち、三次検査受診者数10人で0.34%であった。三次検査の結果、要観察2人、フォロー中

7人であった。

《中学校》

倉吉市：尿検査者数1,177人のうち、三次検査受診者数7人で0.59%であった。三次検査の結果、放置してよい1人、要観察1人、フォロー中3人であった。

東伯郡：尿検査者数1,391人のうち、三次検査受診者数9人で0.65%であった。三次検査の結果、放置してよい1人、要観察4人、フォロー中が4人であった。

・尿糖（糖）精密検査

《小学校》

倉吉市：尿検査者数2,389人のうち、精密検査対象者はいなかった。

東伯郡：尿検査者数2,900人のうち、三次検査受診者数3人で0.10%であった。三次検査の結果、放置してよい2人、要観察1人であった。

《中学校》

倉吉市：尿検査者数1,177人のうち、三次検査受診者数1人で0.08%であった。三次検査の結果、要医療1人であった。

東伯郡：尿検査者数1,391人のうち、三次検査受診者数2人で0.14%であった。三次検査の結果、要医療1人、すでにフォロー中1人であった。

【令和3年度】倉吉市と東伯郡（4町）別集計。

・腎臓疾患（蛋白尿・潜血）第三次検査

《小学校》

倉吉市：尿検査者数2,298人のうち、三次検査受診者数2人で0.09%であった。三次検査の結果、要観察1人、すでにフォロー中1人であった。

東伯郡：尿検査者数2,895人のうち、三次検査受診者数1人で0.03%であった。三次検査の結果、要観察1人であった。

## 《中学校》

倉吉市：尿検査者数1,193人のうち、三次検査受診者数3人で0.25%であった。三次検査の結果、要観察2人、要精密検査1人であった。

東伯郡：尿検査者数1,405人のうち、三次検査受診者数2人で0.14%であった。三次検査の結果、放置してよい1人、要観察1人であった。

## ・尿糖（糖）精密検査

### 《小学校》

倉吉市：尿検査者数2,298人のうち、三次検査受診者数3人で0.13%であった。三次検査の結果、放置してよい3人であった。

東伯郡：尿検査者数2,895人のうち、三次検査受診者数4人で0.14%であった。三次検査の結果、放置してよい2人、要観察1人、すでにフォロー中1人であった。

### 《中学校》

倉吉市：尿検査者数1,193人のうち、精密検査対象者はいなかった。

東伯郡：尿検査者数1,405人のうち、三次検査受診者数1人で0.07%であった。三次検査の結果、要医療1人であった。

○西部：笠木正明先生より説明。

米子市の小学校、中学校について集計。

尿糖、尿蛋白・潜血の精密検査医療機関は鳥取大学医学部附属病院。

## 【令和2年度】

### ・尿糖

尿検査者数11,990人（小学校7,962人、中学校3,938人）のうち、陽性者6人で、そのうち1人が2次検査を受診し、腎性糖尿病型、今まで通りの生活でよい（外来通院）であった。

### ・尿蛋白・潜血

尿検査者数11,900人のうち、第四次の精密検査受診者は2人で、急性腎炎による要観察者2人であった。

## 【令和3年度】

### ・尿糖

尿検査者数11,756人（小学校7,886人、中学校3,870人）のうち、陽性者4人で、そのうち4人が2次検査を受診し、境界型1人、糖尿病型1人、腎性糖尿病型2人で、放置して今まで通りの生活でよい1人、今まで通りの生活でよい（外来通院）1人、糖尿病可能性あり（食餌療法中心の治療必要）2人であった。

### ・尿蛋白・潜血

尿検査者数11,756人のうち、第四次の精密検査受診者は12人で、要観察者数は11人、無症候性血尿による要観察者が8名、その他が3名であった。

現在は、米子市集計しかできていないが、西部医師会の中に判定委員会が出来たので、来年度に向けて、他の市町村にもデータの収集ができるように働きかけていくとの話があった。

その他、以下の報告があった。

- ・各地区において、検診で見られる糖尿病はII型がほとんどであり、I型の発生頻度は2～3年に1例程度であった。
- ・全国的には（急性）腎炎が増えているという報告があるが、県内ではあまり見られない。

## 協 議

### 1. 令和4年度の学校検尿のあり方について（鳥取県学校検尿事後措置のガイドラインについて）

先にメーリングリストで意見募集をしていたガイドライン（案）について、笠木委員の説明のもと、あらためてその内容を確認した。

ガイドラインや様式は、各地区で参考にしてい

ただきながらも、様式の文言や形式は各地区で変更していただいて構わないとした。ただし、最終的に県医師会に報告いただく際の報告様式等は全県で統一することとした。

なお、ガイドラインは3月末まで意見募集を継

続し、4月に確定版を策定することとした。

また、今後、対象を高校生に広げていくにあたり、各地区の検査医療機関に内科も加わっていたきたいとの話があった。

#### 会議出席者名簿（敬称略）

##### 【委員】

鳥取県医師会会長	渡辺 憲
鳥取県医師会理事	岡田 隆好
こどもクリニックふかざわ	深澤 哲
せのお小児科医院	妹尾 磯範
こどもクリニックかさぎ	笠木 正明
米子医療センター小児科	岡田 晋一
鳥取県教育委員会体育保健課長	高田 治美

（代理出席 指導主事：前田 仁美）

東部医師会会長	石谷 暢男
中部医師会	河場 康郎
西部医師会理事	長田 郁夫

##### 【事務局】

鳥取県医師会事務局長	岡本 匡史
同 係長	神戸 将浩

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、  
労働基準監督署への届出や申請は、**電子申請**を利用しましょう！

労働基準監督署に来署いただかなくても手続きできます

##### 【届出・申請可能な主な手続】

- 労働基準法に定められた届出など（時間外・休日労働に関する協定届（36協定届） など）
- 最低賃金法に定められた申請など（最低賃金の減額特例許可の申請 など）

##### 【電子申請の方法】

電子政府の総合窓口「e-Gov（イーガブ）」のホームページから電子申請が利用できます。

ホームページは

e-Gov

検索

を検索してください。

鳥取労働局ホームページの電子申請の掲載箇所

[https://jsite.mhlw.go.jp/tottori-roudoukyoku/content/contents/roukikankei\\_denshi.pdf](https://jsite.mhlw.go.jp/tottori-roudoukyoku/content/contents/roukikankei_denshi.pdf)

もご覧ください。

## 糖尿病療養指導士の認定更新条件について協議 —Web研修会も対象に—

＝「鳥取県糖尿病対策推進会議」「鳥取県糖尿病療養指導士認定機構統括委員会」合同会議＝

- 日 時 令和4年3月17日（木） 午後2時～午後3時10分
- 場 所 鳥取県医師会館 鳥取市戎町  
(テレビ会議) 中部医師会館、西部医師会館
- 出席者 47名

### 挨拶（要旨）

〈渡辺委員長〉

新型コロナウイルス感染症患者数は、減少傾向にはあるが、行きつ戻りつの極めて緩やかな減少スピードである。このような中でも、地域における感染対策を行いながら地域医療・地域保健福祉を維持していくことが重要であり、その上で、社会活動を如何に維持していくかということになってくる。

糖尿病対策は、生活習慣病対策の中でも根幹を成す重要な役割を持っており、CKDのような生活の質、あるいは健康寿命の延伸に対して影響の大きな疾患・病態を予防する為にも、早期の対策が求められる。

本日は限られた時間であるが、委員の皆様の活発な議論を期待する。

### 報 告

#### 1. 令和3年度鳥取県糖尿病対策推進会議事業報告について

令和3年10月に予定していた今年度第1回の会議は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、開催を中止した。

「鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度」登録状況は、東部33名、中部36名、西部71名、鳥大9

名、計149名（令和3年3月15日現在）である。

登録（更新）対象とした研修を東部・中部医師会で各1回、西部医師会で2回開催した。その他の登録（更新）対象とした研修会は3回であった。住民を対象にした講演会『糖尿病予防講演会』は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中部地区のみでの開催であった。

#### 2. 糖尿病地域連携パスの実施状況について

東部：令和2年度は16件、令和3年度は1月末時点で11件である。

中部：令和2年度は、糖尿病連携パス32件、連携とみなす紹介状77件、連携とみなす糖尿病手帳189件。令和3年度は、1月末時点で糖尿病連携パス31件、連携とみなす紹介状64件、連携とみなす糖尿病手帳147件。

西部：令和3年度、連携手帳を用いた症例は30件＋カウントしていない症例も多数あった。かかりつけ医としてパスの役割をおおむね果たせてきている。パスがなくても必要な検査が実施できる医療機関には連携手帳だけの運用を了承することとした。

#### 3. 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構について

講習会Aを10月31日に西部医師会館（西部地区）にて開催し、受講者は20名、講習会Bを11月21日

に鳥取県医師会館（東部地区）にて開催し、受講者は18名、講習会Cを12月19日に倉吉未来中心（中部地区）にて開催し、受講者は19名であった。令和元年度、令和2年度に講習会を受講し、受験資格を満たしたものの受験しなかった者を含め今年度の受験資格者は25名。3月6日（日）に認定試験を実施し、受験者は18名であった。合格ラインは7割とし、13名を鳥取県糖尿病療養指導士として認定した。

#### 4. 鳥取県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進状況について

プログラム対象者の抽出結果（令和2年度）は市町村国保、後期高齢者医療ともに約1,000人となっている。令和元年度から、市町村が行う保健指導に対する支援を鳥取県看護協会（令和元年のみ）と鳥取県栄養士会に委託実施している。

### 協 議

#### 1. 令和4年度鳥取県糖尿病対策推進会議の活動について

令和3年度と同様、県と委託契約を交わし、登録医制度を継続する。

##### (1) 令和4年度における登録・更新要件とする研修会について

内容は例年と同様。追加希望があれば鳥取県医師会事務局まで申請いただく。

##### (2) 市民向け講演会「糖尿病予防講演会」の開催について

地区医師会に委託して1回実施する。

##### (3) 令和4年度受診勧奨のチラシ（案）について

令和4年度も同様のデザインで作成する。

#### 2. 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構について

##### (1) 来年度の講習会および試験について

令和4年度も3年度同様、講習会および認定試

験を行う。講習会は、令和4年10月に西部地区において、11月東部地区において、12月に中部地区において開催を予定している。募集期間は、7月1日（金）～8月中旬とする予定である。募集定員は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年同様に定員を減らし、30名程度とする。

認定試験は令和5年3月の第1日曜日に行う予定。

##### (2) 認定更新について

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、全国各地で学会・研修会が中止・延期となっている状況を鑑み、更新対象者に対し、認定者全員の認定期間を5年から7年に2年間延長することとした。

また、これまで認められていなかったWeb研修会の単位認定について、

- ・学会が運営しているものについては、参加証を元に単位を認める
- ・医師会および製薬メーカー等主催者は、研修会のプログラムの中で表示されるキーワードの回答とログの確認を併用した受講管理を基本とする
- ・ただし、令和4年度はシステムや管理体制の準備期であることから、地区医師会が主催するものについては、受講者のログ情報を基にした受講管理を認める

さらに、日本糖尿病協会の提供するプログラムの活用についても、

- ・現在、eラーニング1講座を1単位として7単位を上限に更新単位として認定しているところ、1講座0.5単位として10単位まで認定する
- ・今後、日本糖尿病協会が刊行する「DMアンサンプル」の定期購読者に対する単位認定について研修委員会等で検討いただく

とした。

### 3. その他

#### (1) 令和4年度 糖尿病連携登録医の登録・更新について

- ・昨年度に引き続き、登録医の次回更新は自動更新（研修会未受講でも更新）とする
- ・令和3年度の対象研修会をWebで受講している

た場合、新規登録要件を満たしたものとする

#### (2) 令和4年度 世界糖尿病デーライトアップイベントについて

昨年度同様、本県におけるブルーライトアップイベントの運営を鳥取県糖尿病協会に依頼する。

### 会議出席者名簿（敬称略）

#### 【鳥取県糖尿病対策推進会議委員】

（※鳥取県糖尿病療養指導士認定機構統括委員）

鳥取県医師会長	渡辺 憲*
鳥取県医師会常任理事	瀬川 謙一*
鳥取県医師会副会長	小林 哲
鳥取県医師会常任理事	明穂 政裕
鳥取県医師会理事	太田 匡彦*
鳥取県医師会理事	松田 隆子*
鳥取県立中央病院	檜崎 晃史
鳥取県立中央病院	村尾 和良*
鳥取県東部医師会理事	尾崎 舞
鳥取県中部医師会理事	大津 敬一
鳥取県西部医師会理事	越智 寛*
鳥取大学医学部地域医療学講座教授	谷口 晋一*
鳥取大学医学部病態情報内科学分野	大倉 毅
鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課長	萬井 実
智頭町福祉課（鳥取県市町村保健師協議会）	森下 幸子
鳥取県歯科医師会理事	隅田 秀樹*
鳥取県薬剤師会常務理事	國森 公明*
鳥取市立病院副看護師長（鳥取県看護協会）	新庄加代子*
鳥取県栄養士会	磯部 紀子*

#### 【鳥取県糖尿病療養指導士認定機構統括委員】

鳥取県中部医師会	坂本 恵理
鳥取赤十字病院・認定看護師	田淵 裕子

#### 【オブザーバー】

鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課課長補佐	福光 康文
------------------------	-------

鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課係長

木村 満代

鳥取県福祉保健部健康医療局医療・保険課係長

岡田 桂子

鳥取県後期高齢者医療広域連合保健師

高橋 千晶

鳥取市保健所健康・子育て推進課保健師

奥田 愛梨

岩美町健康長寿課主任保健師

松本 千晴

八頭町保健課保健師

加賀田良子

智頭町福祉課保健師

東條 幸穂

若桜町保健センター

山本 夕子

倉吉市健康推進課保健師

椿沙 也香

倉吉市保険年金課主任

森田 直之

湯梨浜町健康推進課保健師

清水菜桜子

北栄町健康推進課管理栄養士

塚本 英子

三朝町健康福祉課係長

漆原 良次

琴浦町すこやか健康課保健師

林原 美晴

米子市保険課保健師（室長）

永野 美里

境港市市民課主幹

村上 弘美

日吉津村福祉保健課

佐々木佳世子

大山町健康対策課保健師

花本 美弥

伯耆町健康対策課

舟越 聡

南部町健康福祉課主幹

村上 康恵

南部町健康福祉課主幹

田子 将

日南町住民課主事

坪倉 昂平

米子保健所健康支援総務課保健師

吉村 詩穂

#### 【事務局】

鳥取県医師会事務局次長 岡本 匡史

鳥取県医師会事務局係長 神戸 将浩

## 産業医研修会のテーマが決まる ＝産業医部会運営委員会＝

- 日時 令和4年4月14日（木） 午後3時～午後4時10分
- 場所 テレビ会議にて3会場
- 出席者 〈鳥取県医師会館〉  
渡辺会長、黒沢委員長  
岡田克・秋藤・加藤・後藤各委員  
山田鳥取労働局健康安全課長、國政鳥取産保総合支援センター副所長  
長谷川鳥取労働局地方労働衛生専門官  
〈中部医師会館〉  
松田・福嶋各委員  
〈西部医師会館〉  
小林副委員長、三上・越智各委員、能勢鳥取産保総合支援センター所長

### 挨拶（要旨）

〈渡辺会長〉

新型コロナウイルス感染症の鳥取県での初の感染者が、令和2年の4月に確認され、ちょうど2年となった。地域医療、地域保健、産業保健いずれも、コロナの影響を受けながら職場の感染予防などに対応いただいた。鳥取県は、人口10万人当たりの感染者数が全国で最も少ないが、毎日100人前後の感染者数が報告されている。今年度もコロナの対策を行いながら、地域医療、地域保健、産業保健をしっかりと進めていきたい。

本日は令和3年度の振り返り、令和4年度の事業計画の立案となり大変重要である。限られた時間ではあるが、幅広い意見を頂戴したいと思う。よろしく願います。

〈黒沢委員長〉

大学を3月に定年退職し、現在は、産業保健の健診業務に従事している。

ウクライナ問題や感染症の問題はあるが、地域の産業活動は活発に行われている。それだけ産業保健分野も重要性を増している。産業医も様々な相談にあたっていると思う。そのような先生方を支援できるような、講演会や事業活動にしていきたいと思うのでよろしく願います。

### 議事

#### 1. 令和3年度事業報告について〈秋藤委員〉

鳥取県医師会産業医部会が実施した主な事業、(1)日医認定産業医数351名、(2)「産業医部会運営委員会」「産業医研修会」「鳥取県産業保健協議会」の開催、(3)「第2回全国医師会産業医部会連絡協議会」の出席、(4)「鳥取産業保健総合支援センター主催の研修会」「産業医科大学主催の産業医研修会」の共催などについて資料をもとに報告があった。内容の詳細は、会報に会議録等を掲載している。



## 2. 令和4年度事業計画（案）について

令和4年度に実施する本会産業医研修会のテーマ、講師等について協議、意見交換を行った。具体的には下記のとおり実施する。

(1) 日医認定産業医の取得を目指している医師のための「基礎研修（実地・後期）」と、更新を迎える医師のための「生涯研修（更新・実地・専門）」を合同で、基本テーマを「メンタルヘルス」「熱中症対策」「職場巡視」「ハラスメント」「労災」「両立支援」とした。なお、今年度も昨年度と同様、三密回避のため、定員（先着順）を設け、県外からの申込はお断りすることとした。

第1回目の研修会は、令和4年7月に東部地区で予定しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、止むを得ず開催を中止する可能性がある。中部地区は9月、西部地区は10月を予定している。

(2) 令和4年6月19日（日）鳥取県医師会館において、鳥取県医学会における日医認定産業医指定研修会（生涯・専門1単位：認定医のみ対象）を開催する。

(3) 「鳥取県産業保健協議会の開催（10～11月開催予定）」「第43回産業保健活動推進全国会議への参画」「第3回全国医師会産業医部会連絡協議会への参画」「鳥取県産業安全衛生大会の開催（7月1日（金）倉吉未来中心）」

## 3. 鳥取産業保健総合支援センターの事業について〈國政鳥取産保センター副所長〉

鳥取産業保健総合支援センター年度別事業実施状況について概要説明があった。相談、研修会、

その他については目標に対し、順調に達成された。

令和4年度の計画として、①治療と仕事の両立支援、②メンタルヘルス対策（ストレスチェック制度を含む）、③産業保健活動の活性化、その他全般事項の3項目を柱に展開していく。

## 4. 令和4年度の産業保健事業について

〈山田鳥取労働局健康安全課長〉

(1) 令和3年度の一般健康診断実施結果の推移について概要説明があった。

鳥取局での一般健康診断の有所見率は、近年まで全国平均を下回っていたが、令和3年度は全国平均と同じ値となった。今後も健康に仕事を続けていただくためには、職域の健康診断の意義は大きい。

(2) 職場における労働衛生基準の改正について概要説明があった。

作業面の照度基準が3区分から2区分へ変更となり、労働者に配慮した照度を適切に確保することが重要である。その他に「独立個室型の便所」が法令で位置づけられたなどがある。

(3) 「ストレスチェック制度の効果的な実施と活用に向けて」「テレワークにおけるメンタルヘルス対策のための手引き」について概要説明があった。

## 5. その他

(1) 鳥取県産業医研修会の受講料について、産業医部会員以外の受講料は3,000円頂いていたが、鳥取県医師会の組織強化にも繋げるため、今年度より5,000円頂くこととした。

## 児童・生徒をとりまく多くの課題について ＝令和4年度学校保健講習会＝

理事 岡 田 隆 好

- 主 催 日本医師会
- 後 援 日本学校保健会
- 日 時 令和4年4月10日（日） 午前10時～午後4時
- 会 場 オンライン（Zoom）講習会
- 出席者 辻田常任理事、岡田理事

生涯保健と地域保健の基盤である学校保健に係わる活動が地域で円滑に行われることを旨として、学校医をはじめとする医師が学校保健に従事する上で必要な最近の学校健康教育行政事情や重要課題に係わる知識を修得するという趣旨の元、開催された。昨年度に引き続き、今年度もZoomを用いたオンライン開催となり、700名以上の会

員が視聴したとのことであった。

午前10時に渡辺弘司日本医師会常任理事による開会のあと、中川俊男日本医師会会長による主催者挨拶、中川俊男日本学校保健会会長（代読 弓倉 整日本学校保健会専務理事）による後援者挨拶に引き続き、下記のプログラムに沿って講習会が行われた。

### 令和4年度 学校保健講習会 プログラム

開催日：令和4年4月10日（日）

時 間		講 習 内 容
10：00～10：10	10分	開 会：渡辺 弘司（日本医師会 常任理事） 主催者挨拶：中川 俊男（日本医師会 会長） 後援者挨拶：中川 俊男（日本学校保健会 会長）
10：10～10：40	30分	中央情勢報告① 講師：三木 忠一 （文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 課長）
10：40～11：10	30分	中央情勢報告② 講師：山田 泰造 （文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 課長）
11：10～11：40	30分	日本学校保健会の取り組み 講師：弓倉 整 （日本学校保健会 専務理事）
11：40～12：10	30分	中央教育審議会の活動報告 講師：渡辺 弘司 （日本医師会 常任理事）
12：10～13：00	50分	昼 休 み

時 間		講 習 内 容
シンポジウム【児童・生徒をとりまく課題】		
13:00～13:30	30分	基調報告 日本医師会学校保健委員会の答申報告 講師：松村 誠 (日本医師会学校保健委員会 委員長)
13:30～14:00	30分	講演1：問題行動（いじめ・自殺・不登校） (文部科学省初等中等教育局児童生徒課 生徒指導室)
14:00～14:30	30分	講演2：家庭環境（児童虐待・ヤングケアラー） 講師：内尾 彰宏 (厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課 虐待防止対策推進室 室長補佐)
14:30～14:40	10分	休 憩
14:40～15:10	30分	講演3：ICT化に伴う目の健康 講師：丸山 耕一 (日本眼科医会 理事)
15:10～15:40	30分	講演4：エコチル調査と学校保健 講師：衛藤 隆 (東京大学 名誉教授)
15:40～16:00	20分	シンポジストによる討論
16:00		閉 会：渡辺 弘司（日本医師会 常任理事）

座長：松村 誠（日本医師会学校保健委員会 委員長）  
浅井秀実（日本医師会学校保健委員会 副委員長）

午前中は、文部科学省初等中等教育局による「中央情勢報告①・②」、日本学校保健会による「日本学校保健会の取り組み」、日本医師会による「中央教育審議会」の講習があった。

午後はまず基調報告として「日本医師会学校保健委員会の答申報告」が行われ、引き続いて「問題行動（いじめ・自殺・不登校）」、「家庭環境（児童虐待・ヤングケアラー）」、「ICT化に伴う目の健康」、「エコチル調査と学校保健」の4題の講演が行われた。その後「児童・生徒をとりまく課

題」についてシンポジストによる討論会が行われ、午後4時閉会となった。

今年度の講習会では、ヤングケアラーとエコチル調査に関する内容が初めて取り上げられ、児童・生徒をとりまく課題がますます多様化していることを実感させられた。なおすべての講演資料と映像は、日本医師会ホームページにアップされているので今回視聴されなかった会員の方は、各講演の詳細をそちらでご確認いただきたい。

#### ○日本医師会メンバーズルーム＞令和4年度学校保健講習会

[https://www.med.or.jp/japanese/members/flv\\_movie/20220410school/index.html](https://www.med.or.jp/japanese/members/flv_movie/20220410school/index.html)

**速報 医療機関における新型コロナウイルス感染拡大防止のための院内感染対策における基本的な対策と特に注意すべきポイント（鳥取県版新型コロナウイルス院内感染対策ガイドライン）の見直しについて（通知）**

鳥取県内でも、オミクロン株の中でも感染力が強いとされるBA.2の拡大で、医療機関でのクラスターが相次いで発生しており、ゴールデンウィーク明けにはさらに感染拡大が予測されることから、早急の対策が必要であり、5月11日に「鳥取県新型コロナウイルス院内感染に係る意見交換会」が開催されました。

県内クラスター事例を検討し、原因分析とともに基本的対策と特に注意すべきポイントについて「鳥取県版新型コロナウイルス院内感染対策ガイドライン」を策定しましたので、各医療機関におかれましては、これらについて御留意いただき、さらなる院内感染対策の徹底に努めていただきますようお願いいたします。

（鳥取県医師会感染症危機管理対策委員会担当：理事 秋藤洋一）

**鳥取県版 新型コロナウイルス院内感染対策ガイドライン  
基本的な対策と特に注意すべきポイント**

**陽性者判明前からの院内感染対策のポイント**

- **発生に備えた院内の体制整備**
  - ・ 全職員の教育（標準予防策、感染経路別予防策、流行しているウイルスの特徴など）
  - ・ 感染対策を担当する医師および看護師、その他スタッフによる巡回を実施。
- **標準予防策、感染経路別予防策の徹底**
  - ・ 正しい手指衛生、適切な個人防護具の選択と着脱（N95、サージカルマスク、フェイスシールド、ゴーグル、手袋、ガウン、エプロンなど）、咳エチケットを徹底。
  - ・ 高頻度に不特定多数が接触する箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ、テーブル、ベッド柵、パソコン、PHS、電話、ナースコールなど）は、各勤務において清拭消毒を実施し、環境対策を行うこと。
  - ・ 環境を汚染させないように、廃棄物の適切な処理方法、使用後のリネンの適切な取扱い等を掲示し、医療廃棄物の適切な処理をすること。
- **職員への対応**
  - ・ 出勤前の体温測定及び発熱、咳等の症状が認められる場合の他、鼻炎等の持病持ちである場合でも普段違うと感じた場合には、職場長等への報告を行い職場長等は出勤を行わないよう指示することを徹底。やむを得ず勤務する場合でもPCR検査等を積極的に実施する。
  - ・ 標準予防策や休憩時等マスクを外す場面における黙食の実施等、感染予防対策を徹底する。
- **取引業者等への対応**
  - ・ 職員のみならず、委託業者等、職員などと接触する可能性と考えられる者も含めて、マスクの着用を含む咳エチケットや手洗い、アルコール消毒等により感染経路を断つ。
  - ・ 取引業者、委託業者等も、物品の受け渡し等は玄関など施設の限られた場所で行うこと、施設内に立ち入る場合については、体温を計測してもらい、発熱が認められる場合には入館を断るといった対応を検討。
- **患者への対応**
  - ・ マスク着用、手洗い、手指消毒の他、施設内でも（売店に行く際でも）人混みは避ける等、感染予防対策を徹底する。
  - ・ 発熱、体調不良等の症状が出た場合には、速やかに検査を行う。
  - ・ 可能な限り入院時検査を実施する。

等 1

## 鳥取県版 新型コロナウイルス院内感染対策ガイドライン 基本的な対策と特に注意すべきポイント

### 陽性者判明時における院内感染対策の初動対応のポイント

- 院内感染の影響範囲の早期把握
  - ・ 院内感染が疑われる場合(関係する2名以上の者が感染した場合等)には、検知から一両日中に一斉検査等、検査対象者を幅広く選定することで、院内感染の影響範囲を把握する(早期の囲い込み)とともに、影響範囲に応じた適切なゾーニング等を行う。
  - ・ 感染状況を把握するため、その後のフォローとして再度一斉検査を実施することを検討する。
- ゾーニング・コホーティング
  - ・ 2名以上の陽性者が発生した場合、ゾーニングの準備を行う。
  - ・ 感染領域と非感染領域を明確に区別すること。流れが交差しない工夫をすること。
  - ・ 入院患者を、感染者・濃厚接触者・それ以外の者の病室に分けること。
- 標準予防策の強化
  - ・ 陽性者判明時には、アイシールド(フェイスシールド)を常時着用に変更する等、普段の標準予防策からのレベルを上げることが検討される。
  - ・ また、感染者が多数発生している場合には、アイシールド等に加え、N95マスクの常時着用や、手袋、ガウン等も含めた予防策(フルPPE装備)を標準とすることを検討する。
- 感染を広げさせないための濃厚接触者等への対応
  - ・ 濃厚接触者に当たる患者は可能な限り、個室管理とすることが望ましい。
  - ・ 濃厚接触者の有無関わらず、感染期に転棟した患者については、転棟先での感染の広がりを防ぐため、陰性確認及び待機期間の経過(濃厚接触者)まで個室管理とすることが望ましい。
- 鳥取県感染制御専門家チームへの相談
  - ・ 自院での感染対策について、鳥取県感染制御地域支援ネットワーク(白兔ネット)の鳥取県感染制御専門家チーム等による相談対応、現地での助言を検討する。(陽性者有無に関わらず、相談できます。)  
※希望される場合は管轄の保健所へお問合せください。  
(概要はホームページ参照) <https://www.pref.tottori.lg.jp/193040.htm>

等 2

## 鳥取県版 新型コロナウイルス院内感染対策ガイドライン 基本的な対策と特に注意すべきポイント

### 重症化リスクの高い高齢者が多く入院している医療機関において 特に注意いただくべきポイント

- 職員、取引業者等によるウイルスの持込みの防止 (※陽性者判明前及び判明時のポイントと一部重複)

(入院が長期化しやすい療養病床などの場合、ウイルスは基本的に(患者からではなく)職員等から院内に持ち込まれるという前提に立った対策を実施)
- 個人防護具(N95、サージカルマスク、ゴーグル、手袋等)の適切な着脱など、標準予防策の徹底

(喀痰吸引、歯磨き、摂食・嚥下リハ、入浴介助などの場面では、飛沫・接触感染の可能性が高まるおそれ)
- 適切なゾーニング・コホーティング

(不潔区域から清潔区域への物品(保冷枕など)の持出しはないか、持ち出す場合には適切に消毒しているか等を含む。患者が使用したりネン類だけでなく、喀痰吸引で使用した器具、使用済の防護具等にも注意が必要)
- 患者の症状等の把握、必要に応じた迅速な検査等の実施

(重症化リスクの高い高齢者等について、体調・症状等を丁寧に確認。感染が疑われる場合は、患者・職員ともに、迅速なPCR検査等を実施。結果に応じ、保健所や鳥取県感染制御専門家チームとも連携して対応。早期発見し、感染拡大を防止。)

等 3

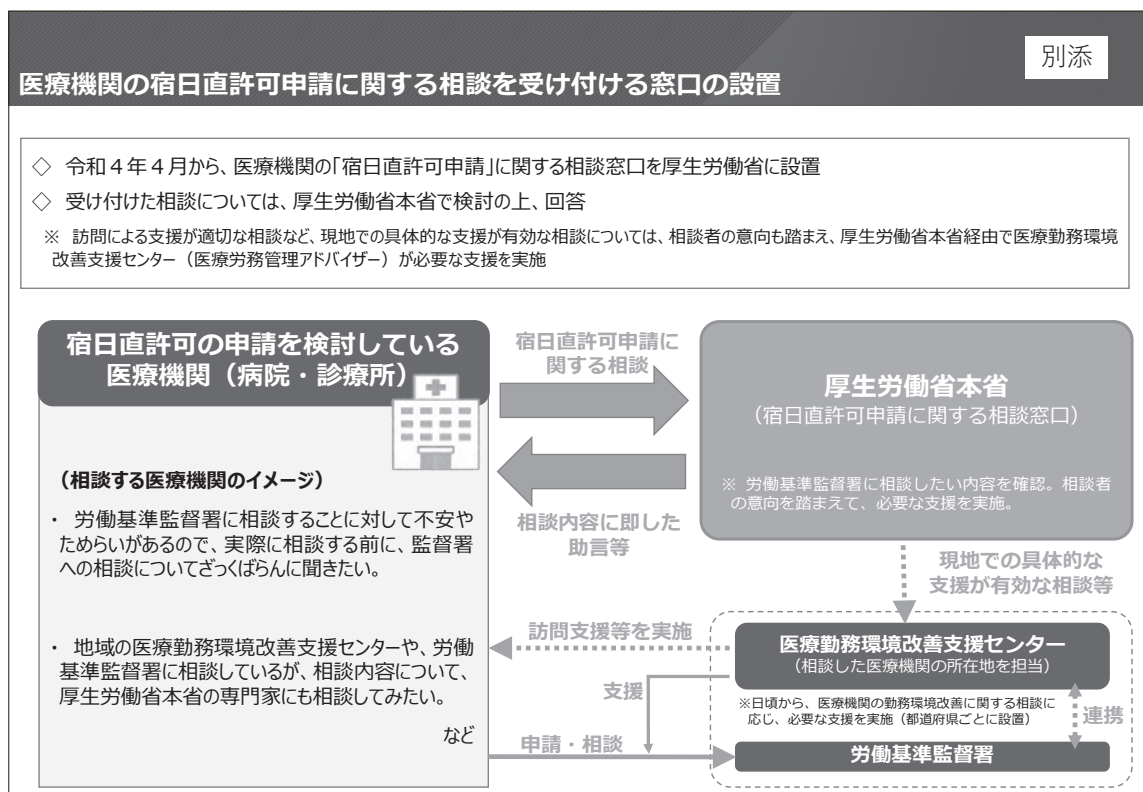
医療機関の宿日直許可申請に関する相談窓口の設置について（周知依頼）

〈4.4.6 日医発第121号（健Ⅰ） 日本医師会常任理事 松本吉郎〉

医師の働き方改革については、令和6年度からの医師に対する時間外労働上限規制の適用に向けて、医療勤務環境改善支援センターや労働基準監督署に対して、医師の宿日直許可申請に関する相談等を行っている医療機関があると承知しておりますが、今般、厚生労働省では、宿日直許可の申請を検討している医療機関を対象とした相談窓口を厚生労働省本省のWebサイトに設置しております。

「労働基準監督署に相談することに対して不安やためらいがあるので、実際に相談する前に、監督署への相談についてざっくりばらんに聞きたい。」「地域の医療勤務環境改善支援センターや、労働基準監督署に相談しているが、相談内容について、厚生労働省本省の専門家にも相談してみたい。」といった点につき、相談をすることが可能です。

相談は、厚生労働省本省のWebサイトの相談フォームへの記入を通じて受け付けます（別添参照）。受け付けた相談については、厚生労働省本省で検討の上、相談者に回答することとなっております。



経済構造実態調査の事前周知について

〈4.4.7 日医発第145号（情シ） 日本医師会長 中川俊男〉

日頃より、大変お世話になっております。

この度、総務省・経済産業省では、2022年6月に我が国の全ての産業における企業・事業所や団体を対象とした「経済構造実態調査」を実施いたします。

この調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づき実施する国の重要な統計調査（基幹統計調査）であり、報告の義務があります。ご回答いただいた調査内容は統計法に基づき厳重に保護されます。

調査をお願いする貴会会員の皆さまには、国が調査を委託した民間事業者（経済構造実態調査実施事務局）から、調査票などの調査書類を、5月下旬より順次郵送いたしますので、インターネット又は郵送により、ご回答をお願いいたします。

詳しくは、同封のリーフレット「安心まるわかり！ みんなの経済構造実態調査」及び経済構造実態調査ホームページをご高覧ください。

経済構造実態調査ホームページ：<https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>

### 医師の働き方に関する政省令等について（情報提供）

〈4.5.11 日医発第353号（健I） 日本医師会常任理事 松本吉郎〉

医師の働き方改革については、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」（以下、「改正医療法」）が令和3年5月28日に公布され、医療法等の一部が改正されました。医師の働き方改革に関する政省令・告示については、令和4年1月19日以降、公布されております。

主な改正項目は、別紙の図のとおり、1. 医療法に基づく政省令等、2. 労働基準法に基づく省令・告示、3. 労働安全衛生法に基づく省令です。なお、各項目の施行期日は、内容により令和4年2月1日、令和4年4月1日、令和6年4月1日となっております。厚生労働省では、今後、施行に向けて具体的な運用内容等が整理でき次第、順次、都道府県や医療機関等に示していくとのことです。

また、本会は、令和4年4月1日付で医療法第107条第1項の規定に基づく医療機関勤務環境評価センター（以下、「評価センター」）に指定されました。この評価センターは、医療機関に勤務する医師の労働時間短縮の取組の状況について評価を行うこと、その取組について必要な助言・指導を行うことにより、医師による良質かつ適切な医療の効率的な提供に資することを目的としています。

本会としては、医療機関の急激な労働時間短縮で地域医療にひずみが出ることをのまないよう、地域全体を俯瞰し、B水準や連携B水準、C-1水準、C-2水準を申請いただきたいと考えています。

この度、下記のとおり医師の働き方に関する政省令等をお示しします。

### 記

#### 《医師の働き方に関する政省令等について》

##### 1. 医療法に基づく政省令等

医政発0119第9号（令和4年1月19日）

主な内容：医療機関勤務環境評価センター、医師の労働時間の把握、長時間労働の医師に対する面接指導、継続した休息時間の確保の努力義務、特定労務管理対象医療機関（いわゆるB、連携B、C-1、C-2）について

労働時間短縮計画の作成に関する経過措置について

医師の労働時間短縮等に関する指針について

医政発0201第6号（令和4年2月1日）

主な内容：特定高度技能研修機関（いわゆるC-2）の指定に関して公益上必要と認められる医療分野の公示

医政発0324第17号（令和4年3月24日）

主な内容：特定高度技能研修機関（いわゆるC-2）の指定のために厚生労働大臣の確認（いわゆる審査組織での審査）を受けるための審査料の額の提示

医政発0401第31号（令和4年4月1日）

主な内容：医療機関勤務環境評価センターとして日本医師会が指定されたこと

医療機関勤務環境評価センターによる評価は「医療機関の医師の労働時間短縮の取組の評価に関するガイドライン（評価項目と評価基準）」に基づいて行われること

特定労務管理対象医療機関（いわゆるB、連携B、C-1、C-2）の都道府県知事への指定申請の準備行為の規定について

特定高度技能研修機関（いわゆるC-2）の厚生労働大臣の確認（いわゆる審査組織での審査）について

## 2. 労働基準法に基づく省令・告示

基発0119第9号（令和4年1月19日）

主な内容：医師の時間外・休日労働の上限時間について

医療法上の面接指導と同内容の面接指導を行うこと等を36協定に定める

## 3. 労働安全衛生法に基づく省令

基発0119第2号（令和4年1月19日）

主な内容：医療法上の面接指導と同内容の面接指導について、労働安全衛生法に基づく面接指導と位置付ける



## 医師の働き方に関する政省令等について

- 医師の働き方改革に関する政省令・告示については、令和4年1月19日等に公布された。
- 主な改正事項は以下のとおりであり、今後、施行に向けて具体的な運用内容等が整理でき次第、順次、都道府県や医療機関等にお示ししていく。

### 【医療法に基づく政省令等】

#### ① 医師の労働時間短縮等に関する指針 (令和4年2月1日施行)

- 労働時間短縮に向けた基本的考え方、短縮目標ライン、関係者が取り組むべき事項 等

#### ② 医療機関勤務環境評価センターに関する事項 (令和4年4月1日施行)

- センターの指定手続き、業務規程の内容、評価等業務諮問委員の任命手続き
- 評価事項（医療機関の労務管理体制等）、評価結果の公表方法 等

#### ③ 特例水準の対象となる医療機関に関する事項 (令和6年4月1日施行)

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ B水準医療機関                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定に係る業務の要件、指定対象となる救急医療機関</li> </ul> </li> <li>○ 連携B水準医療機関                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定に係る医師の派遣の要件</li> </ul> </li> <li>○ C-1水準医療機関                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定に係る業務の要件</li> </ul> </li> <li>○ C-2水準医療機関                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定分野、指定に係る業務の要件、対象医師の要件</li> </ul> </li> </ul> | <p style="text-align: center;">&lt;共通事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 労働時間短縮計画の記載事項</li> <li>○ 欠格事由となる労働法令違反の内容</li> <li>○ 指定や指定更新の手続き</li> </ul> |
|--|--|

#### ④ 追加的健康確保措置に関する事項 (令和6年4月1日施行)

- 勤務間インターバルの確保方法（始業から24時間以内に9時間の継続した休息時間の確保等）、代償休息の付与方法、許可あり宿日直勤務の場合の取扱い
- 面接指導対象医師の要件、面接指導実施医師の要件、面接時の確認事項 等

### 【労働基準法に基づく省令・告示】

#### 特例水準に関する事項 (令和6年4月1日施行)

- 医師の時間外・休日労働の上限時間について、
  - ・ A水準として原則月100時間未満（面接指導等実施の場合例外あり）、年960時間
  - ・ B・連携B・C-1・C-2水準の医療機関において指定に係る業務等に従事する医師について原則月100時間未満（面接指導等実施の場合例外あり）、年1,860時間と規定する。
- 医療法の面接指導と同内容の面接指導を行うこと等を36協定に定めることとする。 等

### 【労働安全衛生法に基づく省令】

#### 面接指導に関する事項 (令和6年4月1日施行)

- 上記の労働基準法に基づく省令で定められた面接指導を、労働安全衛生法に基づく面接指導と位置付ける。 等

## 鳥取医学雑誌への投稿論文を募集致します

「鳥取医学雑誌」は、鳥取県医師会が発行する「学術雑誌」で年4回発行しています。締切日は設けておりません。「受理」となった論文は、発行月に最も近い医学雑誌へ掲載いたします。投稿にあたっては、鳥取医学雑誌に掲載している「投稿規程」をご覧ください。「興味ある症例」（質疑応答形式；2頁）欄への投稿も併せて募集致します。

優秀な論文には、「鳥取医学賞」が贈られます。

### 「鳥取医学雑誌 新人優秀論文賞」

この賞の対象は、筆頭著者が卒後5年までの医師で、原則として鳥取県医師会会員です。平成25年発行の第41巻から適用しております。

会員各位の日常診療の参考となる論文のご投稿をお待ちしております。



「投稿規程」類のご請求、およびご不明な点は鳥取県医師会・鳥取医学雑誌編集委員会へお問い合わせ下さい。

〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会内・鳥取医学雑誌編集委員会

TEL 0857-27-5566 FAX 0857-29-1578

E-mail igakkai@tottori.med.or.jp

# お知らせ

## 第53回全国学校保健・学校医大会の開催について（予報）

標記の大会が下記により開催されますのでご案内いたします。

現時点では「ハイブリッド開催」の予定ですが、今後の状況を鑑みながら、随時、大会ホームページ（<https://school-health53.jp/>）にて案内されます。

演題募集は5月31日（火）まで、一般参加申込期間は6月中旬～8月末を予定しております。

### 記

テーマ	「子どもたちの『生きる力』を育む」
日時	令和4年11月12日（土）午前10時～
会場	ホテルメトロポリタン盛岡 本館・ニューウイング
主催	日本医師会 担当：岩手県医師会
参加者	日本医師会会員および学校保健に関係ある専門職の者
参加費	現地・Webとも15,000円

※ハイブリッド開催の場合は、会場に変更が生じることがありますことをご了知下さい。

9：00	○受付	ホテルメトロポリタン盛岡本館
10：00	○分科会 第1分科会「からだ・こころ（1）」 第2分科会「からだ・こころ（2）」 第3分科会「からだ・こころ（3）」 第4分科会「耳鼻咽喉科」 第5分科会「眼 科」	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング ホテルメトロポリタン盛岡本館 ホテルメトロポリタン盛岡本館 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
12：00	○昼食（各分科会会場）	
13：00	○都道府県医師会連絡会議	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
13：00	○開会式・表彰式	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
14：00	○次期当番県医師会長挨拶	
14：00	○特別講演 「非認知能力について」（仮） 講師：白梅学園大学名誉教授 無藤 隆先生 小児科 教授 中野貴司先生 座長：（調整中）	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
15：00	○シンポジウム テーマ「子どもたちの『生きる力』を育む」 座長：（調整中） ①「子供がストレスを乗り越える力“レジリエンス”を育む」 日本産婦人科医会会長 木下勝之先生 ②「非認知能力は生きる力を育む」（仮） 岩手県医師会女性医部会副会長 千田恵美先生 ③「マンダラートー目標達成に向けたプロセス」（仮） 花巻東高等学校硬式野球部監督 佐々木 洋先生	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
17：30	ディスカッション コメンテーター 無藤 隆先生	
17：30	○閉会	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
17：45	○アトラクション「鬼剣舞」	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
18：15	○懇親会	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング



## 『治療と仕事の両立支援について』

働き方改革関連法案が施行されておりますが、厚生労働省の働き方改革実行計画には「病気の治療と仕事の両立」についての記載があります。この「病気と治療と仕事の両立」について、それまで健康だった従業員が病気にかかり治療が必要になると、以前のように働けなくなるケースが出てきます。治療しながら働きたい人にとっては、治療と仕事の両立はその人にとっては課題となります。

職場において治療と仕事の両立支援の体制整備の取組みが検討、整備されることで、継続的な人材確保、「職員の安心感」、「モチベーションの向上による人材の定着」につながる一方で、治療と仕事の両立支援の取組み状況は職場によって様々であり、支援方法に悩む担当者も少なくありません。厚生労働省は治療と仕事の両立支援を進めるためのポイントを以下のとおり示しています。

- ①基本方針の具体的な対応方法、ルール（就業規則、各種規程等）を作成し職員に周知し治療と仕事が両立しやすい職場環境を整備
- ②職員、管理者に対して研修等、意識啓発の取組みを実施
- ③両立支援は、病気療養中の職員から職場に復帰したい申出から始まりますので安心して相談、申出が行える相談窓口を周知
- ④職員の治療に配慮するために、休職制度や勤務制度など実情に応じて検討

ポイントの④について、就業規則には一般的に私傷病による休職規程が定められていると思えますが、令和4年1月の傷病手当金制度改正（詳細についてはセンター通信第45号をご参照下さい）についてもこの「治療と仕事の両立」に対応する為に改正となった経緯がございます。この傷病手当金改正に関連し、「治療と仕事の両立」に関する制度整備と就業規則に規程されている私傷病による休職規程の見直しをご検討されてみてはどうでしょうか。

厚生労働省の「事業場における治療と仕事の両立支援ガイドライン」では両立支援を行うための環境整備、留意事項、支援の進め方が記載されています。また企業と主治医が連携して「治療と仕事の両立支援」をしていくための文書様式例が掲載されています。

また、このガイドラインの参考資料として作成された「企業・医療機関連携マニュアル」には具体的な事例が掲載されていますので、「治療と仕事の両立支援ポータルサイト」よりダウンロードができますのでご活用下さい。

この他に、このポータルサイトでは事業主向け以外に、「医療機関・支援機関の方へ」があります。ここには両立支援を充実させるための診療報酬に関する内容が記載されておりますのでご確認をしていただければと思います。

(今回の担当 医療労務管理アドバイザー 板倉 剛 社会保険労務士)

《過去に掲載した記事は、勤改センターのホームページからも閲覧できます》

お問い合わせ・ご相談など、お気軽にご連絡ください。ご利用は無料です。

**鳥取県医療勤務環境改善支援センター（略称：勤改センター）**

住所：鳥取市戎町317（鳥取県医師会館内） TEL：0857-29-0060 FAX：0857-29-1578

メール：kinmukaizen-c@tottori.med.or.jp

HP：https://www.tottori.med.or.jp/kinmukaizen-c/

鳥取 勤務環境改善 検索

## 女性医師の意識調査結果と女性医師活躍への期待

鳥取県医師会理事 女性医師支援委員会委員 松田 隆子

2019年12月、中国から世界中に伝播したコロナウイルス感染症により世界の人々が文化的、経済的などいろいろな形で多くの影響を受け、今も続いています。日本でも多くの人々が集まる学会、集会が中止になりました。2018（平成30）年女性医師の活躍に向けて中部で開催された第1回鳥取県女性医師の会も、第2回米子で、3回目を鳥取で開催後、2年間中止を余儀なくされました。そこで、女性医師支援委員会は鳥取県の女性医師に対して以下の問1～9の意識調査を行いました。回答期間は2021年10月29日より12月24日まで、配布数425部、本調査に回答していただいた女性医師155名（回答率36.5%）でした。

**問1から3** あなたの年代、専門科目、勤務先について教えてください。

**問4から6** 日頃の家事、育児、介護についてお尋ねします（複数回答可）。

**問7** コロナ禍でご自身の医師の仕事に影響を受けましたか？

**問8** 別紙は日医ニュースの記事です。読後の感想・ご意見はありますか？

日医ニュース『勤務医のひろば』（令和2年9月20日第1417号）から、東京女子医科大学放射線腫瘍学講座教授・講座主任、全国医学部長病院長会議男女共同参画推進委員会委員長 唐澤久美子氏の“医師は育児や介護を中心になって担うべきではない”というテーマの約700字の記事です。その一部を紹介すると『……ずっと勤務医を続けている。私の母は小児科医で、家には住み込みのお手伝いさんがいて、家事と育児を行っていた、私も子供ができてから保母さんを頼み、家事と育児をお任せしていた。……仕事を減らそうとか、

やめようとか考えたことは1度もなかった……仕事がしたかったからである。……平成30年度に「女性医師等のキャリア支援策に関する実態調査」で……調査から見て取れたのは、仕事を持っていても、女性が家事や育児の中心的担い手とされる、いわゆる固定的性別役割分担意識が強いことであった。高度プロフェッショナルである医師が、家事や育児を中心となって担うことは医師不足につながり、それは結局、社会の損失となる。女性医師が医業に専念できる社会基盤整備の、家事などの外注を可能にさせる収入増加が、日本の医療発展の鍵の1つであると思えてならない。』と結ばれています。

**問9** 普段女性医師として仕事をして悩んでいることはありますか？

**問9-2** 悩んでいることを誰かに、またはどこかに相談しましたか？

最後に、女性医師として日頃思っていること、考えていること、医師会へのご意見などありましたら、自由にお書きください、という内容の調査でした。

結果です。

**【問1～3】** 本調査での年齢内訳は、30歳台、40歳台が各々30%で、次いで20歳台が15%、50歳台が13%、60歳台以上10%で、20歳台から40歳台までが7.5割と若い世代である。専門科は内科系42人、小児科19人、産婦人科15人、眼科及び研修医各々11人、皮膚科、精神科各々10人、整形外科・リハビリ9人、外科系6人、麻酔科5人で、内科系、小児科が多く、外科系が少ない。勤務先は、病院が81%、診療所17%、その他2%で、病院勤務が約8割を超えている。

【問4～6 家事について】どちらかといえば大変である・大変であるが104人と最も多いが、大変でないが32人、配偶者・家族のサポートがあるが72人と同様に多い。家事サービスを利用しているが8人、楽しいが12人であった。育児について：未経験が70人と多く、配偶者・家族のサポートがあるが58人、どちらかといえば大変であるが54人、楽しいが22人であった。大変だった、大変である、子供は成長したと書き込みもあった。介護について：若い年代が多いためか、未経験が120人で最も多く、介護施設や介護サービス等を利用したが19人であった。

【問7】コロナ禍での影響は、少し影響を受けた81人、変わらない56人、すごく受けた18人であった。記述では、“普段少ししか行けない学会がWeb開催になったため、フル参加して単位を取得し、セミナーをたくさん受けることができた”、“発熱外来棟を診療所の外に造った”とコロナ禍での影響は少なく、むしろ勉強する時間ができたようである。

【問8】67人の方にさまざまな感想・意見をいただいた。“興味深い”、“共感できる”、“男女関係なくキャリアを目指すのは素晴らしいし、パートタイム勤務、家事をしてもよいと思う。どちらも受け入れられやすい社会であって欲しい”、“地方では保母さんを雇えない”という感想がある一方で、タイトルや内容が“衝撃的”、“扇動的”と反発された方もあった。“医師として頑張りたい気持ちがあるが、家庭ができたなら家庭を大切にしたい”“ロールモデルとして挙がる先生は、優秀で熱心で努力家で素晴らしいと思うが、もっと平均的で家庭を大切にしたい先生のモデルを知りたい”、“わが子の成長を自分でしっかり見ていきたいので、子育てを優先したい”、“立派なキャリアをお持ちで尊敬できるが、働き方の1つだと感じた。私自身は3人の子育てをし……子ども達の成長を近くで見れてよかった”など、育児や家事に参画する意見がやや多いように思いました。

【問9】悩んでいることがある91人（59%）、ないが63人でした。悩んでいることを誰かに、どこ

かに相談しましたかに対し、同僚・同期40人、家族・親族36人、友人33人、職場の先輩・上司29人、相談していない7人でした。相談の相手はあるようですが、是非医師会ホームページの女性医師支援相談窓口にもご相談下さい。

最後に、女性医師として日頃思っていることに対し64人の方から書き込みがありました。“出産を機に非常勤の勤務となり、キャリア形成が大きな問題になる。仕事量は男性と同じで多いが家事がある”“子育てとキャリアの両立が難しい”“妊娠中、子育て中の、待機、当直などの夜間勤務の免除”“女性医師が第一線でのキャリア継続ができるようなシステムや教育をもっと普及させて欲しい”これらに対しては、保育所や病児保育のさらなる充実や女性の待遇改善や、男女ともに働き方改革が必要と思われます。

2009（平成21）年、日本医師会では勤務環境の現況を調査し、女性医師としての悩みとして、「家事と仕事の両立の困難」、「プライベートな時間や勉強時間の不足」が多く掲げられました。医師会や行政も協力し、保育の充実や、職場改善に努めました。鳥取県医師会でも2017（平成29）年同様の調査を行いました。奇しくも40歳台以下が7.5割と若い世代が多く、専門科も内科、小児科が多く、病院勤務医が大多数で今回の調査と同様の対象でした。今回の調査でも、時短や育児休暇など職場環境の改善の要望が多かったですが、配偶者・家族のサポートがあるが増加しており、“家事や育児も楽しみたい”との意見もありました。鳥取県は待機児童ゼロ、小児科や産科が日本一多い。男性の育児参加も高い、などが関係しているのでしょうか。問8は、医療や医学の分野に果敢に進まれ、育児や家事への時間配分を少なくした一人の女性医師の働き方・取り組み方です。令和3年の医師国家試験の女性の合格率も昨年と同様33.7%で、今後も女性医師は増加し注目されると思います。女性医師の活躍にはまだまだ環境的、人材的支援や理解が必要ですが、女性の聡明さ、聞く力、多面的判断能力を生かし、キャリアアップし前進して欲しいと思います。



## おしどりネット通信

### 安来市立病院

米子市 辻田耳鼻咽喉科医院 (NPO法人おしどりネット理事長) 辻田 哲朗

安来市にある安来市立病院の紹介をします。この病院はおしどりネットを非常に有効に活用していただいております、関係者としては感謝に堪えません。ここで安来市立病院の概要についてご説明します。人口3万7千人余の安来市の医療の地域中核病院で、平成の市町村の合併以前は町立広瀬病院として運営されていました。現在は旧広瀬町と安来旧市街からの患者さんの割合が半々となっています。鳥取県で言えば済生会境港総合病院が同じような立ち位置になるかと思えます。医療圏としては、松江市より米子市の方が利便性があり、さらに院長の水沢先生をはじめ多くの医師が鳥取大学出身ということもあり、主に鳥取大学医学部附属病院のサテライト病院的存在となっています。他にも山陰労災病院、米子医療センターとも交流を持っておられます。

このために鳥根県の病院でありながら、鳥根県の豆ネットおよび鳥取県のおしどりネットも積極的に活用してもらっています。患者さんのおしどりネットへの登録は今現在1,100人を超えました。この経緯は5年前から院長の水沢先生の号令のもと地域連携室が中心となって鳥大などに患者さんを紹介する場合はほとんどすべて患者さんにおしどりネットへの加入を勧めるようになったからです。このことについて実際に病院に伺って話をお聞きしたところ、勤務の先生方や患者さんからの抵抗はほとんどなく、スタート以降コンスタントに利用があり毎月20名ほどの登録をしていただいております。現在に至っており、今では完全に軌道に

乗っているということでした。これも地域連携室の方々の御努力に負うところが大きいです。具体的には医師や患者さんの手間を極力なくして書類もサインだけすればいいようになっていて、詳しい説明は地域連携室の方が直接患者さんに話されるようになっていきます。このように病院が一体となっておしどりネットを運用されていて、これも水沢先生のリーダーシップの賜物です。それにより安来市立病院から鳥大に紹介した患者さんは退院後もスムーズに診療を行うことが出来ていて、おしどりネットの有用性を十分に活用して頂いて、それがひいては患者さんのためにもなっています。鳥取県でもなるべく多くの医療機関で、おしどりネットの有用性を理解していただき、幅広く活用してもらうためにも広報の充実を図らねばと改めて痛感しました。

#### おしどりネット

(NPO法人鳥取県医療連携ネットワーク協議会)

TEL：090-4893-1167

MAIL：office@oshidori-net.jp

住所：鳥取県米子市久米町136番地2

HP：http://oshidori-net.jp



おしどりネットホームページ



## 高度救命救急センターの指定を受けて

鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター 診療科長 教授 上田 敬博

当科は平成16年10月に厚生労働省と鳥取県から救命救急センターの指定・認可を受けました。平成30年3月から鳥取大学医学部附属病院を基地病院として、ドクターヘリ事業が開始されました。そしてこの度令和4年4月1日に鳥取県より「高度救命救急センター」の指定を受けました。厚生労働省の救急医療対策事業実施要綱には、高度救命救急センターは、救命救急センターに収容される患者のうち、特に広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等の特殊疾患患者を受け入れるものとする。と記載されており、整備基準として(1)高度救命救急センターは、広範囲熱傷、指肢切断、急性薬物中毒等の特殊疾患患者に対する救命医療を行うために必要な相当高度な診療機能を有するものである。(2)高度救命救急センターには、24時間診療体制を確保するために、必要な職員を配置するものとする。ア 医師 常時高度救命救急医療に対応できる体制をとるものとする。特に麻酔科等の手術に必要な要員を待機させておくものとする。イ 看護師等医療従事者特殊疾病患者の診療体制に必要な要員を常時確保すること。特に手術に必要な動員体制をあらかじめ考慮しておくものとする。(3)設備 高度救命救急センターとして必要な医療機器を備えるものとする。と厳しい要件を満たす必要があります。また、高度救命救急センターは、通常の救命救急センターで対応が困難なあらゆる症例を集約し治療を行う、「最後の砦」としての機能を有し、近隣の救命救急センターと連携しながら、専門的な教育・研修、研究を実施する体制を構築することが求められています。今回鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センターは全国で46番目、西日本では11番目、鳥取県では初の指定を受けました。これにより鳥取

県西部地区のみを診療圏とするのではなく、鳥取県全域及び、隣県近隣診療圏の重症疾患の受け入れに応えることとなります。

ドクターヘリ導入の効果もあり、多発外傷や重症熱傷の受け入れ数や診療圏は拡大しており、県全域・島根県・岡山県はもとより、京都府からも傷病者を受け入れ、山口県や青森県からの相談もきており、西部地区の救命救急センターから「全国から注目される高度救命救急センター」として変わりつつあります。昨年の重症熱傷の受け入れは17件あり、熱傷面積が30%以上の広範囲熱傷に対する自家培養表皮植皮術は1年で6例施行され、全国で2番目に多い手術数となっています。また自家培養表皮植皮術は手術するまでに3~4週間を要するため、高度な集中治療管理ができないと施行できないのが特徴です。このことから、熱傷治療のみならず、全国的にも先端で高度な集中治療を行えていることが分かります。

日本における救急科専門医の養成と確保問題は深刻です。2016年の日本救急医学会救急科専門医(いわゆる救急医)は4,582名しかいません。専門医は毎年300人程度が認定されることが今後しばらく続く見込みで、米国の対人口比で比較するとその数は3分の1程度と深刻です。鳥取県内の救急医数は全国最小ですが、昨年当科は救急指導医施設にも認可されました。これは、山陰両県で初・唯一の認可となります。これは指導医を養成できる施設であり、指導医が増えることで、救急医療を修練できる施設を増やすことも可能となります。

鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センターは指導医・救急医の養成にも力を入れ、長期的なビジョンを持って、鳥取県の救急医の確保に尽力

していきます。急性期医療の担い手が少ない鳥取県や山陰地域では、診療科に偏らず診療できる総合診療治療が可能な救急医の養成が必須です。当科には救急科専門医に加え、集中治療専門医・脳神経外科医・熱傷専門医・外傷外科専門医・整形外科専門医・IVR専門医・中毒トキシコロジストなどのダブルライセンス・トリプルライセンスを持つ医師が複数所属しており、内視鏡治療からIVR・手術・集中治療・プレホスピタルケアを包括的に治療できる集団を作ることができています。複合疾患や複雑外傷などを治療できる人材が集まり、彼らが次世代を担う若手医師の指導・教育にもあたっています。地方であっても自立した

高度な救急医療の提供が維持できるよう努めています。

高度救命救急センターには、救急医療機関との連携や消防機関との連携や調整、いわゆるメディカルコントロール（MC）も必要があります。鳥取県はMC体制の整備とその認知が低かったために関係各所と協力し、MC体制の整備と県共通の統一、事後検証、教育等にも力を入れていく予定としています。地方における救急医療のモデルとなれるようスタッフ一同邁進していく所存です。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





## 鳥取県感染症発生動向調査情報（月報）

鳥取県衛生環境研究所

(R4年2月28日～R4年4月3日)

### 1. 報告の多い疾病

(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

(単位：件)

1 感染性胃腸炎	319
2 A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	168
3 突発性発疹	29
4 手足口病	22
5 咽頭結膜熱	11
6 その他	9
合計	558

### 2. 前回との比較増減

全体の報告数は、558件であり、28%（220件）の減となった。

〈減少した疾病〉

手足口病 [77%]、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎 [33%]、感染性胃腸炎 [10%]。

### 3. コメント

- ・新型コロナウイルス感染症は、2月中旬のピーク以降高止まりの状態では推移していましたが、4月中旬には増加の兆しがみられ、第7波が懸念される状況です。また、県内でもBA.2系統疑い例が確認され、更なる感染拡大に注意が必要です。  
引き続き、マスク着用、手洗い、換気など基本的な感染対策を継続して実施するとともに、少しでも体調が悪い時は休暇を取り、かかりつけ医など医療機関にご相談ください。
- ・感染性胃腸炎は減少傾向ですが、最も報告数が多く、保育所での集団発生も確認されており、注意が必要です。
- ・昨シーズンに続き、今冬もインフルエンザの報告はほとんどありませんでした。

### 報告患者数（4.2.28～4.4.3）

区分	東部	中部	西部	計	前回比増減
インフルエンザ定点数	(12)	(6)	(11)	(29)	
1 インフルエンザ	0	0	0	0	—
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)	
2 咽頭結膜熱	4	0	7	11	-67%
3 A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	108	3	57	168	-33%
4 感染性胃腸炎	213	52	54	319	-10%
5 水痘	1	0	0	1	0%
6 手足口病	0	2	20	22	-77%
7 伝染性紅斑	0	0	0	0	-100%
8 突発性発疹	7	9	13	29	26%
9 ヘルパンギーナ	1	0	0	1	-88%
10 流行性耳下腺炎	0	0	0	0	-100%

区分	東部	中部	西部	計	前回比増減
11 RSウイルス感染症	3	0	1	4	-20%
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)	
12 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	—
13 流行性角結膜炎	3	0	0	3	50%
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)	
14 細菌性髄膜炎	0	0	0	0	—
15 無菌性髄膜炎	0	0	0	0	-100%
16 マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	—
17 クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	—
18 感染性胃腸炎(ロタウイルスによるものに限る)	0	0	0	0	—
合計	340	66	152	558	-28%

## 帰郷

倉吉市 石飛 誠一

孫三人つれて娘が帰郷せりコロナ禍の中三年ぶりに

初日の出、航空機より撮りしとうスマホの像を娘は見せぬ

夕餉には日本海の松葉蟹を子や孫と共に七人で食ぶ

孫ら二人学園のこと、歳上の一人は恋人のことを語りぬ

二泊して帰りてゆきし子供らの後に残りし布団や枕

## 川柳

鳥取市 平尾 正人

愛された記憶がなくて愛せない

以前、小児虐待をめぐるシンポジウムに参加したことがあります。全国各地から寄せられる虐待事例の中に、子どもの時に虐待を受けて育った子どもは大人になってから自分の子どもに虐待をしてしまう傾向がある、という負の連鎖の報告があり、この句がふっと浮かびました。今でも虐待で命を落とす子どもたちの報道が相次いでいます。負の連鎖をどこかで断ち切らないと子どもにも未来がありません。行政の出番です。

血液型知って性格まで変わる

血液型と性格の関係には医学的根拠はまったくないのに頑なに信じている人がいます。かつて、子どもの病気の治療のために母親の血液型を調べる必要があり、母親の血液を調べたところ、母親の申告と実際の血液型が異なっていたことがありました。その旨を母親に告げた途端、私の今までの人生を返してくれ、と言わんばかりに母親の嘆きがひどく、対応に苦慮しました。あの母親、その後性格が変わったのかどうか知りたいところです。

悪いこと少し多めにした利き手

いいことも悪いこともしてきた両手。でもそれをさせたのは脳の働きであって、手の手柄でも責任でもありません。でもここでは手の立場になって、左右どちらがより多くいいことや悪いことをしたのか考えてみました。しかし句にするにあたっては、いいことよりも悪いこととした方がより川柳的ということで右記の句になりました。

breakthrough  
ブレイクスルー

特別養護老人ホーム ゆうらく 細田庸夫

「講演や会議で、賢く見せるには、カタカナと数字を多用する」との専門家の指摘を目にしたことがある。聴衆も講演に盛り込まれた言葉が理解出来なくても、頷き続ける人が少なくない。

新型コロナウイルス感染症流行初期の「クラスター」「オーバーシュート」「ロックダウン」等の多用に、当時防衛相で英語が堪能な河野太郎氏が、自身のツイッターで、「何で『集団感染』『感染爆発』『都市封鎖』では駄目なんか」とつぶやいた。それから2年経過したが、結果的には日本語は「駄目」が続いている。

その後も「カタカナ」がはびこり、上記日本語を使うと「無知」「時代遅れ」と思われるようになった。その「新型」カタカナ語の語源等を探ってみる。今回も複数の資料を参照した。

**ブレイクスルー**：英和辞典には、「breakthrough 名詞 (1) (軍事) 敵戦線突破。(2) (長く進歩を阻んでいた) 壁の突破、(その結果としての学問・技術の) 大躍進」と載っている。これが「ワクチン接種後の感染」には結びつかないし、「粋な応用」とも言えないので、覚えるしかない。「ブレイクスルー」を連発する人に、「私は英語に疎いので、綴りを教えて欲しい」と嫌味を言いたい気もする。

**クラスター**：辞典には、「cluster 名詞 (1) 房 (葡萄等の)、一塊 (ひとかたまり・花の)。(2) 群れ、集団 (木、星、蜂、人等の)；集団住宅」と載っている。この応用は何か理解出来るような気がするが、「集団感染」の方が理解し易い。

**ロックダウン**：昭和38年の古いコンサイス英和辞典には、1語としての“lockdown”は載っていない。「都市封鎖」と訳されるが、元は監獄内で囚人を独房等から出られないようにする措置

だった。lockdownのドイツ語はSperrung。これを英訳したらblockingとなり、何か理解出来る。中国語では「封城」となる。インターネットで、「都市封鎖」の英訳をしたら、city blockadeと出た。これなら理解出来る。言葉の遊びとなるが、「rockdown」は、日本では城の「石落とし」だろうか。

**オーバーシュート**：英和辞典には「overshoot 動詞 (1) 射越す (的等を) || を通り越す；越える (限度を)；度を越す」と載っている。これも、中々「感染爆発」には結びつかない。行政的には、「日本語で正確に言い換える言葉がみつからなかったため」が、この言葉を使う理由だそう。このような場合、「粋な」意識も許されると思う。

**ソーシャルディスタンス**：これを調べて、英語ではsocial distancingが一般的と知った。直訳すれば「社会的距離をとること」。本来は心理的な意味を含めて使われるとも載っていた。「対人距離」と意識は出来ないものだろうか。「安全距離」とすれば、誤用される恐れがある。WHOはphysical distancingを提唱したが、さっぱり受けなかった。

IT化で、インターネット予約が普通になりそうだが、インターネット用語に阻まれる人も高齢者を中心に少なくない。「ログイン」「アカウント」「URL」等は私も正確な知識はない。極めつけは「リコンファメーションメール」があった。コロナ報道も、聞く人、読む人が理解出来ているかどうかを考えて出して欲しい。

新型コロナウイルスとは無関係だが、最近の地方ニュースで、LGBTQが活字になっていた。カタカナで紹介するのも「おぞましい」気がする。

## 地図の上に線を引く (44)

上田病院 上田 武郎

家康は国書に「日本国王」号を用いる事を拒み続けるのは不本意だったのではないかと、という点に戻ります。何故そう思うかと言うと、家康は朝鮮との復交だけではなく明とのそれも熱望していて、朝鮮が日本の使節を明へ通すのを拒むと見ると明に直接アプローチしているほどです。そして明と復交して勘合貿易も再開するというのは即ち明の冊封を受ける事であり、それは「日本国王」として国書を奉じる事だからです。だとすると、家康自身は外交文書で「日本国王」と名乗る事に抵抗はなかったと考えないと辻つまが合いません。

自身は満更でもないのに五山の僧に外交文書を作らせている限りは「日本国王」と書き込めず、朝鮮との交渉が進まない。不本意だったのではないかと？

それでも家康が強引に事を進められなかったのは、それだけ朝廷周辺や寺社や更に大名の中にも反対が根強くあったのではないかと推測します。では、どうするか？

ここから先は何の証拠もない全くの想像ですが、最初の「国書」のやり取りが何だかいい加減でブラックボックスの様だったのは家康がわざとそう誘導したか、あるいは少なくともそうなるも構わないと内々認めていたのではないかと思います。朝鮮から「日本が先に国書を出す」事を条件にされたのに対して、家康側からは何の文書も出さなかったという説と何らかの文書を対馬に渡していたという説がありますが、仮に後者だったとしても実際に作るのは秀吉のブレンでもあった西笑承兌であり、その文書は到底朝鮮の要求する「国書」の体裁ではあり得なかったというのが専門家の一致する所の様です。それが対馬を通過して朝鮮に届いた時には朝鮮の要求に適う書式になっている。そして朝鮮の返書は今度は日本国内向けに何の違和感もない文書として戻って来る。この間に家康自身は特に何も手を染めず、朝鮮側の「礼意識」も国内の「自尊心」も共に満足させ

て交渉を前進させられる。これ程家康にとって都合の良い事があったのでしょうか？

また、朝鮮側も対馬の文書改ざん（あるいはねつ造）に気付किながら不問にしています。

結局両者とも焦る対馬をブラックボックスとして利用したのではないかと？

そこをもう少し踏み込んで勘繰ってみると、果たして日本側で対馬を「利用」したのは家康だけなのか？という疑問が湧きます。上記の様に、朝鮮側は日本がすんなり「国王」号を入れた国書を先に出すはずがない、と理解していて、そこから結局は偽書だと判断しました。逆も恐らくは真で、家康だけでなく承兌を始めとする五山の僧や朝廷周辺も朝鮮が余程の理由もなく条件を取り下げる事はないと良く知っていたはずなのに、朝鮮の返書に驚いたとか疑問を持ったなどの記録はない様です。返書が怪しくても（それはつまり対馬が疑わしくても）結果として自分たちの主張が傷付かない形で交渉が進むならば敢えて騒ぐまい、と考えたのかも……。 (飽くまで想像です。)

ところでブラックボックスの中心は何と言っても柳川氏だと思います。対馬の領主・宗氏の家老格でしかも家康の直臣でもある、まさにドアの蝶番の様な位置に居ました。元々は秀吉が朝鮮についての情報源と朝鮮との交渉役とを兼ねて直臣にしていたのを家康が引き継いだ形ですが、その気になれば家康が自分の本意を密かに伝える事も可能な相手だったと思います。実際にそうしたかどうかは別として。

しかし、柳川氏は家康の存命中には特に幕府から厚遇されていますし、駿府城に常駐もしています。少なくとも家康と密接な関係だったのは間違いないと思います。

また、朝鮮が「先に国書を出せば……」と言って来た年に家康は63歳で、これは秀吉の享年とほぼ同じ、朝鮮そして明との復交を生きている間にと焦り出しても不思議はないとも思います。

# 趣味を持つとう

医療法人元町病院 介護老人保健施設 花の里 井田 拓夫

平成2年3月誕生月で85歳になった時、心身共に健康でしたが、事情により井田内科医院を閉院しました。これでゆっくと気を遣う事も無く過ごせると思いましたが、翌日になって何もする事が無く手持ち無沙汰となりました。これほど退屈な事は無く、これではいけない、そこでこれからは趣味に没頭しようと考えました。幸いに色々趣味があります。

①尺八演奏：小学生時代に聞いた宮城道雄作曲春の海、何時の日か尺八を吹けるようになりたいと思っていました。開業してから週に一回午後7時から2時間師匠について習いました。一番難しい楽器と言われていますが、最初は全然音が出ない。一生懸命練習して、一月後どうにか音が出ましたが音楽にならない。楽理、実技試験を受けて一段ずつ昇格して行き、現在は日本尺八連盟所属大師範です。年一回琴社中との合同演奏会があります。そのための練習が約一月間続きます。大変ですが技術向上のために必要です。合奏する時は

お互いに速度を合わせなければなりません。上達すると独奏する機会が与えられます。腕の見せどころですが、緊張すると良い音が出ません。理由は唇と唄口(1)の間が微妙にずれるためです。冷汗が出ます。終了後の懇親会は楽しく色々人生勉強になりました。残念ながらコロナの流行で中止となっています。竹の保管が悪いと割れます。修理した所を鉢巻と言います。短い竹になるほど高音が出ます。常時吹かないと良い音が出ません。椿油を付けた布で拭くと焦茶色に着色し味のある模様が出てきます。

②油絵：高校時代から描いています。選択科目制度があり、簡単で楽なのでそれ以来の付き合いです。美術の時間にピカソの絵についてボロクソに言ったら成績表に3点が付いていました。医学生になってから、ピカソが重度の精神病を患っていたと知り然もありませんと思いましたが、時既に遅しでした。山陰労災病院に勤務し、本格的に描きだしました。四季折々大山周辺を美しい風景を求めてドライブしました。開業してから沢山描きました。鳥取県医師会報、西部医師会報の表紙絵として採用していただきました。

③写真撮影も好きです。某会主催のコンクールでグランプリを戴きました。表彰式に子供達が東京へ行きましたが、航空運賃の方が高く付きました。

趣味は努力すればする程上達します。一生涯の友となります。気楽に付き合える。努力が報われます。

令和2年12月13日より花の里に勤務しています。冬はつらい。しかし次の一節に励まされています。福沢諭吉の心訓に世の中で一番楽しく立派な事は、一生涯を貫く仕事を持つと言う事です。



# 君はクリスティアーノ・ロナウドか？

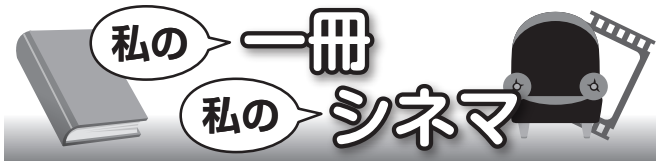
八頭町 村田 勝 敬

サッカーに全く関心のなかった頃の1995年5月、私はメチル水銀による小児神経影響を調べるためにポルトガルのマデイラ自治領を訪れた。首都Funchalに隣接するCamara de Lobosという農漁村にある小学1年生150名弱を対象に、小学校の体育館を間仕切り、神経生理学的検査を約1ヶ月間行った。神経学的検査はFunchal市内にある病院の小児神経内科医が担当していた。彼は、カフェオレ斑のある子ども2人を見つけ、「この子らは恐らく神経線維腫症に罹っているが、ここでは比較的高頻度に見られる遺伝性疾患だ」と教えてくれた。そんな測定をしていた或る日の放課後、大西洋を見下ろす玄関前の広場で調査スタッフとともに小学生の集合写真をカメラに収めることができた。

Wikipediaによると、1985年に生まれたクリスティアーノ・ロナウドはFunchalで12歳の頃までサッカー少年として過ごし、その後マンチェスター・ユナイテッド（マンU）、レアルマドリードなどで著名なサッカー選手として活躍した。現在は再びマンUでプレーしているようだ……。

2008年の夏、改めて写真を眺める機会があった。この写真の中でサッカーボールを腕に抱えている少年が、当時テレビ画面に映るクリスティアーノ・ロナウドの顔と重なって見えてきた。私はマンU公式サイトを探し出し、この写真を添付して彼に「このサッカーボールを持っている少年は貴方か？」とメールした。タイミング悪く、彼は私のメールを読む前にレアルマドリードに移籍していたようであった。残念！





## 「天才の憧憬—ダビンチの陰翳」

米子市 いけだ整形外科クリニック 池田正樹

天才という語の由来が天賦の才能なのか、天下にとどろく才人なのかは不知だが、天才当人から見るとこの世は生きにくく、どうにもサイズの合わない衣装を纏いぎくしゃくしているようなものであろう。ほとんどの場合、後世に渉るその評価は幾何級数的に肥大化し、巨大なモニュメントとなる。だが実際のところ驚くことに、本人は愚直なほどに素朴で気負いはなく、むしろ当惑している。観衆でしかない我々との彼我の差は断崖絶壁を思わす。

ビンチ村のレオナルドというほどの意味を持つその人は祖父母にそだてられた。その後絵画の工房で長い修行をするわけだが、彼の担当部分にみられる群を抜く描写の技量はつとに評価されている。

彼が万人に知られている由縁は、ジョコンダ夫人として流布される「モナリザ」の謎の微笑みに尽きる。これがすべてであって、もはや他に要するものはないかのようだ。生涯この画は彼とともにあり手を入れ続けた未完の偶像絵画である。自らの理想を注ぎどこか中性的でしかし十分な母性とあやしげなつややかさを秘めた、珠玉というにはなお言葉足らずな作品である。

彼の肩書は軍略家、建築家、土木家、音楽家、詩人、発明家などなど。パトロンを求めて売り込むための書簡は己の才能の顕示を極める。そして最後に遠慮がちに、そして絵も描けますと添えている。

散逸を免れた5,000に及ぶ膨大な手稿がこの人の思考世界の凄さをつきつける。発明品の試作も美術家としての卓越したデッサン力に支えられたずば抜けた立体イメージングにより、そのほとんどが彼の頭の中の仮想空間で行われ紙の上で検証されたものであろう。



—天才を生み出すには天才を量る多くの人々の承認がなければなされない。—

「レオナルド=ダ=ヴィンチ 鏡面文字の謎」  
高津道昭 新潮新書（新潮社）

ダビンチの手稿はすべて反転文字である。それについては真砂のごとくあまたの説が存在するが、著者はその理由を公正に正確に残すために出版することを前提に行われたものと看破する。

「レオナルド・ダ・ヴィンチ 伝説と解読」  
瀬木慎一 ニュートンプレス選書  
（株ニュートンプレス）

レオナルドの真骨頂はやはり美術であり、その素描は神が舞い降りたほど秀逸である。

「ダ・ヴィンチの遺言」  
池上英洋 KAWADE夢新書（河出書房新社）

ダ・ビンチの手稿のうちレスター手稿は1994年にビルゲイツが約30億円で購入して話題となった。レオナルドの人生の光と影は汲んでも尽きぬ興味がある。

# 「犬が伝えたかったこと」

米子市 ファミリークリニックせぐち小児科 瀬口正史

2匹のトイプードルを飼っています。今は勤務医時代より自宅にいる時間が長くなり、私が自宅にいるときは四六時中近くにいます。一緒に眠ったり、食事を与えたり、ドッグランに連れて行ったりで、犬との距離が一気に縮まりました。彼らの習性や考えていることが知りたくなり、この本を読んでみることにしたのです。

犬の寿命は長くても20年。人間の5～6倍の速度で歳をとる生き物です。10歳になる長女(?)は、我が家に来たときは、真っ黒でしたが、だんだんグレーになり、最近は白いものが混じるようになり、動きも鈍くなってきました。やはり、早く歳をとるようです。

この本の中で印象的だったところを抜粋でご紹介したいと思います。

「犬は一度好きになった人はずっと好き」といいます。夫婦喧嘩で気まずい雰囲気の家が普段のように愛犬をかわいがること、家の雰囲気がなごんでいくという物語は、私も同感です。愛くるしい犬を撫でていると家庭のイヤな雰囲気を良くしているなど感じます。本の中では、犬はいつものような変わらない愛情で接してくれることが一番うれしいのだと書いています。確かに、犬を残して人間だけで旅行するのもいいのですが、最近は近所でいいので犬と一緒に長い時間を過ごすのがもっといいような気がしています。犬と散歩をしたり、犬の世話を家族ですると、生活が規則的になり、会話が増えて体も心も健康を維持できるようになると書かれていますが、人の生活のリズムも整って、健康管理にもなるようです。

孤独な老人と犯罪を繰り返すアウトロー心理に



犬が伝えたかったこと  
三浦健太 著 (sanctuary books 2018)

「世間から必要とされていない」という共通点があると言います。このような人に対しても犬は自分の命を預けても付き合おうとするそうです。家族を失った孤独な老人やアウトローも「この犬は自分を必要としている」と感じることで、生きがいができるのでしょうか。老人の自殺が減り、刑を終えた元受刑者の再犯率も下がるそうです。最近では、高齢者の施設で犬を飼ったり、犬に触れる時間を持つことで、認知症の進行を遅らせたり、老人に笑顔が増えるということも報告されています。

犬は家族です。その一生を大事にしてやりたいと思います。この本には様々な犬との触れ合いが書かれています。読者の胸を必ずや熱くすると思います。



## 「ウルフズ・コール」監督：アントナン・ボードリー

伯耆町 なかむら医院 仲村広毅

たまたまamazon primeで目に留まった映画ですが、最近の映画であるということ以外特に名作というわけでもなく、有名俳優が出演しているのかも知らずに見た映画ですが、現在の世界情勢に通ずる部分もあるので紹介しようと思います。フランスの映画ですが、核ミサイル発射にかかわる脅威を描いた内容でした。

潜水艦の乗員で「黄金の耳」と言われる優れた聴覚を持つフランス海軍の若き特殊分析官がある作戦の任務中に記憶にないソナー音の識別でミスを行なったところから物語が展開します。彼はその原因の調査を行い、廃棄処分されたはずのロシアの古い潜水艦であったことを突き止めます。ロシアの潜水艦と判明したものは、実は第三者（テロ組織）が密かに買い上げたものでした。その後その偽装艦から偽の核ミサイルが発射され、一気に緊張感が高まります。ロシア艦からの発射と断定され反撃の核ミサイルの発射命令が出されます。しかし、彼の「黄金の耳」は偽装艦から発射されたミサイルに核弾頭は搭載されていないことを解明します。このあとフランス海軍において、いったん発出された迎撃核ミサイルの発射命令を覆すことがいかに困難であるかが映画の終盤に向かって描かれていきます。海軍において迎撃核ミサイ

ル発射命令の取り消しは絶対にあり得ない、たとえ海軍提督からの命令でも聞き入れないという絶対の「掟」があるためだそうです（海の底では誤情報と判別する手段がないため）。

最終的に発射されたかどうかは、機会があったらご覧ください。奇しくも、どこかの国の大統領が分別を欠いた行動をとっている中で鑑賞であったため、とても考えさせられました。36年前のチェルノブイリ原発事故の際にも多くのソ連兵が投入されたことを思い出します。そして、この度の侵攻でもその地に攻撃を向けるなど、単なる無知なのか、本当に常軌を逸しているのか…？限定的とはいえ、核の使用もチラつかせるなど、とてもまともな状態とは思えません。最近のニュースではローマ教皇も「時代錯誤の権力者」などと非難しているという記事もありました。現場の戦闘とは別に激しい情報戦も行われ、このような現実のうえに存在する核抑止力というものがいかに危険なものか、背筋がぞっとするものでした。

なお、実際に核保有国の軍隊が核ミサイルの発射命令の取り消しをできるか否かについては、分かりません（取り消すことが出来ることを願うばかりです）。

# 「音楽と映画」

南部町 法勝寺内科クリニック 三上真顯

クイーンのボーカルのフレディ・マーキュリーの自伝を映像化した、ボヘミアンラブソディーを観ました。この映画の中で大変印象的だったのは、アフリカの飢餓に対する大規模なコンサートの映像です。私は当時、テレビの生放送でその場面をリアルに観ていたためか、はっきりとあの熱狂と興奮が理解できました。「レディオ・ガガ」は今でも好きなクイーンの楽曲です。そこで今回は大好きな80年代の洋楽がちりばめられた映画の話をしたと思います。

## フットルース

いきなり、軽やかにステップ踏むコンバースやナイキのシューズをズームアップした映像が、「フットルース」の曲に乗ってオープンニングを飾ります。都会からやってきたケビン・ベーコンが演じる青年が、ダンスを禁じた町でダンスパーティーを開くまでの出来事を描く青春ドラマです。しかし年を経て観直すと実は親が子離れをする時の心模様が丹念に描かれている作品だと気付きました。激しい葛藤の末に娘をダンスパーティーに送り出した牧師夫婦が、これからは二人きりに戻るのだとしみじみと抱擁するシーンに使用された「パラダイス」という曲が親の哀愁を引き立てます。

## トップガン

トム・クルーズが演じる若き海軍飛行士の成長の物語。ケニー・ロギンスが歌う「デンジャーゾーン」をバックに繰り広げられる戦闘機やバイクが疾走する映像がとても美しく、そしてハラハラ・ドキドキです。美人教官との恋愛シーンに使われた「愛は吐息のように」というバラードも忘れ難い楽曲です。このトップガンがなんとトム・クルーズ主演で続編が作られるとのこと。トム様

化け物！

## フラッシュダンス

労働者階級の無名な女性ダンサーがリッチでハンサムな青年と恋に落ち、一流のダンスチームの仲間入りを果たすまでの、ある意味ベタな物語。しかしダンスシーンは一流のダンサーが演じていて息をのむ映像が満載です。圧巻は主人公が苦境を乗り越えダンスのオーディションを受けるラストシーンです。アイリン・キャラの歌う「ホワット・ア・フィーリング」が躍動するダンスを盛り上げます。私としては「マニアック」が使われたダンスの練習場面が一番大好きです。主人公の筋肉が強調され、マニアックに躍動するダンス映像とそれにマッチするビートが効いた音楽はエロティックで戦闘的です。

## ストリートオブファイアー

ダイアン・レインが演じる女性ロック歌手がコンサート会場からさらわれるところからストーリーが始まります。この歌姫をカッコいい筋肉ムキムキの主人公ヒーローが救出出すという単純明快な作品ですが、各所にパンチが効いた楽曲が使用されとてもテンポよく進んでいきます。中でも黒人のグループが歌うグループサウンドがアクセントになっていて、いかにもロック・ロックしてないところも洒落ています。私は「あなたを夢見て」に乗ってムーンウォークでノリノリのダンスを披露する黒人グループのシーンが大好きです。またラストを盛り上げるのは、救出後のコンサートでダイアンレインが「今夜は青春」を甘く切なく力強く歌う場面です。その歌声を聞きながら会場を静かに立ち去る主人公、サイコーです。

## アマデウス

80年代の洋楽は登場しませんが大好きな音楽作品です。天才そして奇人のモーツァルトと、その才能に嫉妬し苦悩する宮廷音楽家のアントニオ・サリエリとの物語です。映画の舞台は19世紀のウィーンですが、実際のロケは当時まだ共産圏のプラハで行われたとのこと。蠟燭の明かりを多用して、ほの暗い中世の町を見事に浮かび上がらせる

ことに成功しています。病気で憔悴したモーツァルトにレクイエムを作るよう催促するサリエリを描く後半の場面は特に印象的です。モーツァルトが口ずさむメロディーをサリエリが楽譜に書き込むシーンがあるのですが、たくさんのフレーズが最後に重なり合って完成するまでの映像と音楽がうまくシンクロされています。



## 感染症情報について

日本医師会等からの感染症に関する通知は、鳥取県医師会ホームページの「感染症情報」へ掲載しておりますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

鳥取県医師会ホームページ『感染症情報』

<https://www.tottori.med.or.jp/kansenshou>



## マラソン

米子市 小酒外科医院 小酒 慶一



2021年4月4日、広島県庄原市備北丘陵公園にて、ゴールに響き渡るアナウンス…「小酒さん、おめでとう、サブフォーです！」

ゴルフをされている方は、スコアで100を切るとか、ハンディが0になるとか、上達した節目とされる数字がおありだと思います。

フルマラソンは、ご存知の通り42.195キロを走りますが、最初の目標として、まずは制限時間内（多くの場合は6時間）に完走を目指します。その次に5時間、4時間半とタイムを気にするようになるのですが、多くのマラソン初心者に最初の試練になるのが、4時間を切る「サブ4」です。おおよそマラソン大会の上位30%にあたり、1キロを平均5分40秒以内で走り続けることが必要になります。

以前書籍の紹介でも申し上げましたが、私の今の趣味はマラソンです。4年前から少しずつ走り始めました。きっかけは、毎日ゴロゴロ過ごしていた私に対して家族から「あなたも少しは運動してみたら…」と言われたことでした。

近所を20分から30分、ゆっくりジョギングすることから始めましたが、当初はそれでもすぐに足が痛くなり走れなくなっていました。3ヶ月くらい経って、10キロ連続で走れた時はすごく達成感があったことが思い出されます。

最初に出場したのは、日吉津村であるチューリップマラソン大会の10キロの部でした。途中で膝が痛くなったりしましたが、54分くらいで完走しました。大会でゴールした時の高揚感はずごく大きく、練習を継続するモチベーションになります。

した。その半年後に中海マラソンのハーフ（21.1キロ）の部に出場、1時間56分と順調に距離、タイムを伸ばしていきました。

その頃から病院に来られる薬品メーカー、薬品卸しの方と一緒に練習会を行うようになりました。東山陸上競技場で毎週走りますが、マラソン関係の書籍を読み漁り、効果的な練習方法を考え、実践していきまいた。1000メートルを早いペースで走って、200メートルをゆっくり走ること繰り返すインターバル走、血中の乳酸が急激に増えないギリギリのスピードで20分走る閾値走など、陸上部さながらの練習を重ねました。仲間と走ることは、楽しい上に、普段一人では走れないスピードで走れるなど、自分の能力を引き上げてくれます。冬季は夜間競技場が使えないので、湊山公園の坂を連続でダッシュしたり、東山球場外周を競技場の代わりに走ったりしています。

ランニングを始めるにあたって必要なものは何でしょうか。二つだけ挙げるとすれば、シューズと時計（スマートウォッチ）です。ランニングシューズはここ最近で大きく進歩して、クッション性能に優れた厚底シューズが主流になっていま



2021 4月 備北パークマラソン

す。着地した時の足にかかる負担が小さく、かつ反発があり早く走れます。またGPS機能、心拍計機能のあるスマートウォッチは、練習の記録を取り、その練習がどの程度の負荷がかかっているかのような効果があるかを教えてください。私は、靴は主にミズノのウエーブライダー、時計はGarminのForAthlete245を使っていますが、靴は年間に4、5足買っていて、靴箱がパンクしそうです。

「どうしてあんなに苦しいのに走ったりするのか？」と聞かれることがあります。マラソンは練習に比例してタイムが上がり達成感を味わいやすいこと、走ることでアドレナリンが出て前向きな気持ちになれること、一緒に走る仲間ができること、運動量が多いので食べても太らないこと、自己肯定感が増すことなど、一度習慣になってしまえばいい事ばかりだと思います。ただ習慣化するまでが大変で、私も以前は冬期に極端に走る頻度が少なくなったりすることがありました。定期的に大会に出るようエントリーしたり、スマートウォッチに付随するアプリでランニング仲間に自分の練習を見てもらったりすることで今ではモチベーションを維持して走れています。

ランニングを続けた中で一番の思い出は、2019年に出場した「えびすだいこく100キロリレーマラソン」です。美保関から出雲大社まで五人でタスキを繋ぎ100キロを走るのですが、とんでもない上り坂が連続する島根半島を抜けると宍道湖のほとりから大社まで平坦な市街地を走るコースで

す。途中で走っている仲間を見失ったり、中継地点に間に合わなかったりとハプニングはありましたが、団体競技特有の高揚感、五人で肩を組んでゴールした時の達成感は、一人でどんなにいい記録を出しても味わうことの出来ない喜びでした。

その後も練習を重ねていきましたが、強度の高い練習を繰り返した結果、アキレス腱炎、足底筋膜炎などを発症し、エントリーしていた大会に出られないことが続きました。また練習で行う30キロ走で、25キロ以降に足が棒のようになって走れなくなる、「30キロの壁」にぶつかりました。

どんなスポーツであっても、上達のためには怪我をせずに練習を重ねることが一番大切です。マラソンの場合、スピードをつける練習ばかり行っていると足への負担も大きく怪我もしやすくなります。怪我を予防し、持久力をつけるためには、比較的ゆっくり走るジョギングでしっかり脚作りをすることが私には必要でした。月間200キロ程度ですが、距離を目標にして練習を続けました。すると次第に怪我が減って、練習の30キロ走もこなせるようになっていきました。

コロナのせいで大会が次々に中止になる中、2021年4月に小規模で行われる広島県の大会、備北パークマラソンにエントリーしました。直前に行われた出雲のくにびきミニマラソンでは10キロ44分台で走っていたので、スピードは十分についていました。しかし久しく大会に出ていないせいもあって、距離への不安は消えません。

備北パークマラソンのコースは、山の中にある



2019 5月 えびすだいこくりレーマラソン



2018 11月 中海ハーフマラソン

公園で、アップダウンばかりではほぼ平地がなく、5キロのコースを8周するのですが、全上昇距離が340mある過酷なコースです。当日は大雨でかつ冷え込み、あまり恵まれたコンディションではありませんでした。身体中にワセリンを塗り込み、防寒対策をしっかりとってスタート地点へ臨みました。序盤はアドレナリンが出たおかげか順調に走れました。しかしフルマラソンの鉄則として初めに飛ばしすぎると必ず失速するとされているので、ある程度は自重してペースを守りました。25キロを過ぎると靴もびしょ濡れとなり、次第にペースを維持するのが難しくなってきました。しかし、これまでの練習を思い出し、「サブフォー」と何度も口ずさんで走り続けました。最後は集団

に引っ張ってもらい、3時間56分でゴール。目標を達成した喜びに震えました。

現在はコロナのため、マラソン大会の多くは中止となっています。しかしその後も練習を積んで、今年の秋の大会で3時間半、「サブ3.5」を達成すべく楽しんでランニングを続けています。マラソンでは年齢的にピークが40代後半と言われていますが、50代になって自己ベストを更新している仲間もいます。マラソンはいつ始めても遅過ぎることのないスポーツと思います。

本稿をきっかけに、今後新しく走り始める方がいたり、一緒に練習したり、大会に参加する仲間が増えればこれに勝る喜びはありません。

## 鳥取県医師会 女性医師支援相談窓口 「Joy! しろうさぎネット」設置のお知らせ

女性医師支援相談窓口「Joy! しろうさぎネット」は、出産・育児・介護など家庭生活と勤務の両立、また離職後の再就職への不安などを抱える女性医師に対し、助言や情報提供を行い、女性医師等の離職防止や再就職の促進を図ることを目的としています。

女性医師のみなさん、お気軽にご相談ください。

(対象) 鳥取県内の女性医師

(相談内容) 出産・育児・介護など家庭生活と勤務の両立、  
再就業に関する事など

(相談方法) E-mail

「Joy! しろうさぎネット」事務局

〒680-8585 鳥取市戎町317 (公社) 鳥取県医師会内

E-mail : joy-shirousagi@tottori.med.or.jp





東 部 医 師 会

広報委員 松田裕之

5月5日立夏、新緑の季節を迎えました。急患診療所では、ゴールデンウィーク中に多くの新型コロナウイルス感染症の方が訪れたようです。コロナ禍でも自然の営みは続くようで、診療所の中庭には今年も数組のツバメのつがいがやってきて、連休中に最初の雛が孵ったようです。

東部医師会では、6月25日に定例代議員会を予定しています。

6月の行事予定です。

- 2日 在宅医療介護保険委員会
- 7日 理事会
- 10日 鳥取県東部医師会認知症研究会第60回  
症例検討会  
[CC：10 (1.0単位)]
- 16日 鳥取県東部医師会学術講演会  
[CC：7 (0.5単位), 74 (1.0単位)]  
「高血圧診療について (仮)」  
鳥取市立病院 循環器内科  
医長 戸杉夏樹先生  
「地域医療における生活習慣病診療 (仮)」  
鳥取大学医学部地域医療学講座  
教授 谷口晋一先生
- 17日 鳥取県東部医師会学術講演会  
[CC：43 (0.5単位), 73 (0.5単位)]  
「日常診療に潜むファブリー病—100  
名以上の診療経験から—」  
名古屋セントラル病院 ライソゾー  
ム病センター・血液内科  
センター長 坪井一哉先生
- 23日 乾癬と関節痛について考える会  
[CC：61 (1.0単位)]

「乾癬の診断・治療について」

鳥取県立中央病院 皮膚科

医長 後藤寛之先生

「プライマリケア医が知っておきたい  
乾癬性関節炎の臨床像」

鳥取赤十字病院 リウマチ科

部長 岸本勇二先生

25日 東部医師会定例代議員会

28日 理事会

会報編集委員会

※カリキュラムコード (CC)、単位が分かるもの  
のみ記載しております。

4月の主な行事です。

- 12日 理事会
- 14日 鳥取県東部心腎連携の会  
「心不全update～再入院予防の取り組み～」  
鳥取赤十字病院 副院長 荻野和秀先生  
「CKD診療における早期診断・治療の重要  
性～ダパグリフロジンの新規エビデンス～」  
香川大学 循環器・腎臓・脳卒中内科学  
講師 祖父江 理先生
- 19日 第576回鳥取県東部医師会胃疾患研究会
- 20日 第550回鳥取県東部小児科医会例会
- 25日 鳥取県東部医師会学術講演会  
「高血圧治療の現状と課題～ARNI100例  
処方から見えてきたこと～」  
玉島中央病院 循環器内科  
部長 三好章仁先生
- 26日 理事会  
会報編集委員会

広報委員 森 廣 敬 一

世界で流行する新型コロナウイルスの99%超が変異型「オミクロン型」とその派生に置き換わったそうです。感染力が強く、他の変異型を駆逐した格好です。WHOはアルファ型、ベータ型、ガンマ型を「かつて流行した懸念される変異型」に格下げしました。日本はオミクロン型とデルタ型をまだ「懸念される変異型」とし、ベータ型とガンマ型は「監視下の変異型」に格下げしたそうです。オミクロン型も当初の主流は「BA1」でしたが、感染力が2～3割ほど強い「BA2」に置き換わりつつあります。鳥取県でも4月下旬にBA2が6割を超え、県西部は8割に達しておりBA2への置き換えが急速に進んでいるとの発表がありました。オミクロン型は細かな分類で60以上の派生型に分かれていてBA4やBA5もみつまっているそうですがほとんどの派生型では感染力の大きな違いは報告されていません。ワクチンの効果や入院リスクもほとんど同じといわれています。オミクロン型のみが流行することで全体の重症化リスクは従来よりも下がった訳です。

そろそろオミクロン型は2類から5類に下げても良いのではないのでしょうか。感染症は危険度の高い順に1類から5類までに分類されています。2類は保健所を通して入院勧告や隔離、就業制限を行い、濃厚接触者や感染経路の調査が必要とされます。さらにその後「無症状者への入院勧告」や「感染が疑われる人への外出自粛要請」などが加わり1類相当の措置をとることができるようになりました。1類には天然痘やエボラ出血熱など致死率が高く、バイオテロの兵器となるような病原体です。2類の代表例には結核があります。戦

後まもない頃結核は日本人の死因第1位でした。人里離れた所に国立の結核療養病院があり、患者を隔離し治療が行われていました。新型コロナウイルスは結核と同等以上の扱いである2類ダッシュとされました。ウイルスの特性がわかっておらず、SARSレベルの致死率も危惧された初期の段階にこうした分類がなされたことはやむを得なかったでしょうが、致死率がインフルエンザとほぼ同等ということが判明した今もなお2類のままの必要があるのでしょうか。軽症者は入院しなくても良いことになりましたが、自宅で容態が急変した場合は保健所を通しての入院となるため、保健所がパンク状態になったのは当然の結果です。本当に医療が必要な重症者への対応も遅れる事態となってしまいました。最近の知見を踏まえ、政令改正を含め、運用を見直す必要があると痛感します。感染症の専門家の方々はマスクミを利用して国民の不安を煽るばかりで、科学的根拠に基づいた提言もありませんし、医療体制も結局は新型コロナの発生当初から大きくは変わっていません。その結果飲食店をはじめ多くの業種が、近くでは特に三朝温泉旅館が経営に大きな打撃を受け、また自粛政策により国民は疲弊し切ってしまいました。

今後このウイルスは変異をくり返しながらか人類に定着して蔓延することが予想されます。ゼロコロナは当然無理です。ウィズコロナでいくならワクチン接種率を高めると共にまずは新型コロナウイルスの格付けの変更に踏み出すべきと考えます。



6月の行事予定です。

- 1日 心電図判読委員会
- 6日 理事会
- 17日 定例常会  
「経口GLP-1受容体作動薬の活用術」  
ほたるのセントラル内科  
院長 内田大学先生  
[CC: 76 (1単位)]
- 20日 胸部疾患研究会・肺癌検診症例検討会  
[CC: 11 (1単位)]
- 28日 定時総会

※カリキュラムコード (CC)、単位が分かるもののみ記載しております。

4月の活動報告を致します。

- 4日 定例理事会
- 11日 定例常会

「地域医療について家庭医療の視点から考える～行動科学分野を中心に～」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

高齢者総合医療講座 助教 大村大輔先生

- 13日 講演会 Web配信

「急性期脳梗塞に対する血管内再開通療法～最新知見を交えて～」

筑波大学医学医療系 脳卒中予防・治療

学講座 筑波大学附属病院 脳卒中科

講師 早川幹人先生

- 18日 胸部疾患研究会・肺癌検診症例検討会

- 19日 講演会 Web配信

「糖尿病治療Up to Date～血糖および血圧の管理から考える～」

愛知医科大学 糖尿病内科

教授 神谷英紀先生

- 20日 糖尿病対策委員会



広報委員 仲村 広毅

GWも後半は高気圧に覆われ、やっと過ごし易い季節になったと実感できます。テレビを見てみると各地の行楽客は増えており、各種スポーツやイベントも特別な制限なく開催されているようです。さすが日本人と感ずるのは、ほぼ全員がマスクを着用しているところでしょうか。欧米であればこの逆でしょう……。

それでも、withコロナとしての意識は持ち続けなければならないと感じるのは、医療従事者であるからでしょうか？

先々週のことで、米子市役所の担当者から「皆生トリアスロン大会」の開催に関して、西部医師会への協力依頼がありました。西部医師会としても長年、医療救護班として有志を募って協力をしているのですが、一昨年・昨年は医療体制

の維持も難しい状況であるため協力は出来ないと、開催自体の中止を進言させていただきました。しかし、今年度は全国的に見ても、各種スポーツやイベントが開催されている傾向にあり、世の中が「共存」に向かっている状況で昨年と同様に反対を唱えることは現状にそぐわないため、消極的賛成（協力）という玉虫色の返答をせざるを得ませんでした。たった数日間で選手だけで約1,000人、その家族やサポーターを合わせると計2,000人規模の関係者が西部地区に入ってくれます。さらにボランティアの方々の確保ができるか、彼らの安全をどのように担保するかも検討しなければいけません。競技中の体調不良者への対応や、場合によっては救急搬送についてもあらかじめ検討する必要があります。課題は山積ですが

ひとつずつ対策を立てていくしかありません。

何とか収束に近づいていくことを願うばかりです。

6月の行事予定です。

- 6日 腎性貧血Webセミナー  
[CC:18 (1.0単位)]
- 9日 CKD・診療連携セミナー in Yonago  
[CC:12 (1.0単位)]
- 13日 常任理事会
- 14日 Tottori Kampo Web Lecture ～整形  
外科編～  
[CC:60 (0.5単位)]
- 15日 小児診療懇話会
- 20日 定例代議員会
- 21日 肝胆膵研究会
- 24日 Pain Live Symposium in Yonago
- 27日 理事会

28日 消化管研究会

※カリキュラムコード(CC)、単位が分かるもの  
のみ記載しております。

4月の活動報告をいたします。

- 5日 Diabetes Update Forum in Yonago
- 11日 常任理事会  
第10回NINAI Meeting
- 14日 鳥取県臨床皮膚科医会 学術講演会
- 20日 鳥取県西部小児科医会 4月例会(第571回  
小児診療懇話会)
- 21日 高血圧診療の病診連携を考える会
- 25日 理事会
- 26日 鳥取県西部医師会消化管研究会  
心アミロイドーシス治療連携Webフォー  
ラム



広報委員 原田 省

若葉の季節となりました。医師会の皆様におかれましては、変わりなくお過ごしでしょうか。

4月16日(土)、新たにできたゲストハウス棟のこけら落としイベントとして、病院職員や入院患者さんを対象とした錦織良成監督作品『白い船』の上映会&トークショーを開催しました。会場であるゲストハウス棟多目的ホールは、錦織監督にプロデュースいただき、映画試写室と同等、それ以上の映像と音響が楽しめるつくりとなっています。今後、上映会は定期的に行う予定としており、地域の皆様にもご参加いただきたいと思っております。

それでは、鳥取大学医学部・附属病院の4月の動きについてご報告いたします。

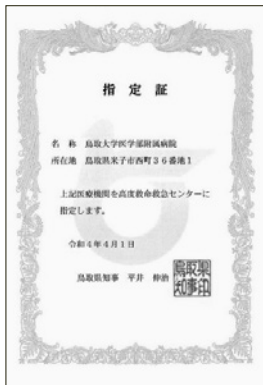
**鳥取県から高度救命救急センターに指定**

当院救命救急センターは、令和4年4月1日付にて鳥取県より「高度救命救急センター」に指定されました。

高度救命救急センターは、複数の診療科領域にわたる重篤な患者さんを受け入れ、24時間体制で適切な救急医療を提供する救命救急センターのうち、広範囲熱傷、四肢切断、急性中毒等の特殊疾患に対する、特に高度な診療機能を有するとして県が指定する医療施設です。鳥取県内では当院が初めて指定を受けました。

当院はドクターヘリ・ドクターカーの基幹病院として、県全域および鳥根県東部、岡山県北部、広島県東北部からの救急搬送要請に日々対応しております。

今後、地域の「最後の砦」としての使命を担い、更なる救急医療体制の構築に一層取り組んでまいります。



### スポーツ医科学センターを開設

4月、当院にスポーツ医科学センターが新設されました。このセンターは、「広い世代、あらゆるスポーツ種目におけるスポーツ傷害や関連疾患に迅速に対応すること、そしてパフォーマンス向上に寄与することで健全なアスリート育成に貢献しよう。」という構想を掲げております。

そして三本の柱をモットーとし、これらをすべて充実させることで真のトータルサポートを目指していきます。

- ・「多診療科・多部門によるサポート」
- ・「特徴的治療の積極活用と治療選択肢の拡充」
- ・「スポーツ診療・アスリートサポートネットワークの活用」

医療に地域による多様性が求められるように、アスリートサポートにも地域の特性に合わせた工夫が必要です。パフォーマンス向上に切磋琢磨するトップアスリートのため、そして何よりもスポーツを楽しむ多くの人のため、当センターは可

能な限り迅速かつ専門的な診療とサポートを行い、山陰のアスリートサポートの基盤を目指してまいります。



新たにできた外来診察室を報道機関に公開しました

### 腎センターを開設

当院は、腎臓病診療の充実と次世代につながる人材育成の強化のため、この4月に「腎センター」を開設しました。

昨今、高齢化や生活習慣病の増加に伴い、慢性腎臓病や腎不全のため透析が必要となる患者数は増加傾向にあります。腎臓病は全身臓器や身体機能の衰えにもつながり、様々な合併症に対する包括的なアプローチが必要となることから、幅広い知識に基づく専門治療ならびに専門医とかかりつけ医との連携が重要です。

また、腎不全に対する腎代替療法として透析（血液、腹膜透析）および腎移植があり、個々の患者様に最適な治療法の選択には専門医からのアドバイスが不可欠で、腎臓専門医の人材育成は喫緊の課題であります。

そして院内においても、質の高い医療提供のためには診療科を越えた協力体制の確立が必要でありました。

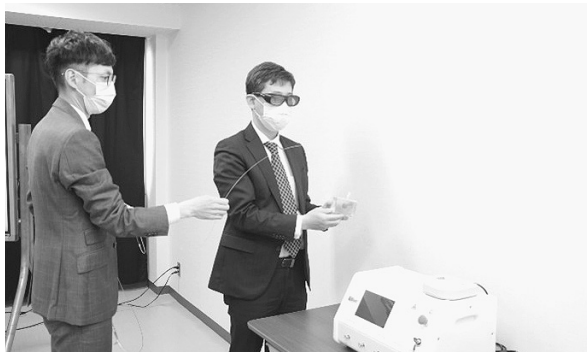
このような背景をふまえ、腎センターでは腎臓病に関わる医療課題に対する地域ニーズに応えるとともに、腎疾患の理解促進や慢性腎臓病の予防にも力を入れ、鳥取県全体における腎疾患診療の充実に貢献してまいります。



### 頭頸部がんに対する新たな治療法 光免疫療法 (アルミノックス治療) を実施

当院耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、山陰地区初となる頭頸部がんに対する光免疫療法（頭頸部アルミノックス治療）を実施し、4月19日（火）に記者説明会を行いました。

この治療法は、アキラルックス®という薬の投与と医療機器のBioBlade®システムのレーザー照射を併用し、腫瘍細胞のみを死滅させる「光免疫治療（頭頸部アルミノックス治療）」というものです。対象となるがんは、手術によって切除することのできない局所進行又は局所再発の頭頸部が



ん（顔、首、鼻、のど）です。

この治療法は実施施設の承認条件が厳格に定められていることから、対象施設も限られており、山陰地区では当院が初めて実施可能な施設と認められ、治療を開始しました。今後は、標準的な治療で効果が得られない患者さんにとっての新たな選択肢として期待されます。

### 外来玄関ホスピタルアートの完成披露式

このたび当院の外来棟1階の玄関通路に、アーティストの大宮エリーさんによるホスピタルアートが完成し、4月25日（月）に完成式を行いました。

大宮さんは3月中旬、7日間米子に滞在し、患者さんや職員らと交流しながらこの作品を制作されました。原田病院長の「病院らしくない絵を」というリクエストに応え、旅で訪れたスリランカの海から朝日が昇る様子を描き、ヤシの木やカラフルな鳥などリゾートの雰囲気の漂う絵が完成しました。

壁画は外来玄関を入ったメイン通路に設置してありますので、多くの方々が目にすることができるとおもいます。ぜひ当院にいらしてアートをご鑑賞ください。



# 日本医師会生涯教育カリキュラム〈2016〉（一覧表）

## カリキュラムコード（略称：CC）

1	医師のプロフェッショナルリズム	43	動悸
2	医療倫理：臨床倫理	44	心肺停止
3	医療倫理：研究倫理と生命倫理	45	呼吸困難
4	医師－患者関係とコミュニケーション	46	咳・痰
5	心理社会的アプローチ	47	誤嚥
6	医療制度と法律	48	誤飲
7	医療の質と安全	49	嚥下困難
8	感染対策	50	吐血・下血
9	医療情報	51	嘔気・嘔吐
10	チーム医療	52	胸やけ
11	予防と保健	53	腹痛
12	地域医療	54	便通異常（下痢・便秘）
13	医療と介護および福祉の連携	55	肛門・会陰部痛
14	災害医療	56	熱傷
15	臨床問題解決のプロセス	57	外傷
16	ショック	58	褥瘡
17	急性中毒	59	背部痛
18	全身倦怠感	60	腰痛
19	身体機能の低下	61	関節痛
20	不眠（睡眠障害）	62	歩行障害
21	食欲不振	63	四肢のしびれ
22	体重減少・るい瘦	64	血尿（肉眼的、顕微鏡的）
23	体重増加・肥満	65	排尿障害（尿失禁・排尿困難）
24	浮腫	66	乏尿・尿閉
25	リンパ節腫脹	67	多尿
26	発疹	68	精神科領域の救急
27	黄疸	69	不安
28	発熱	70	気分の障害（うつ）
29	認知能の障害	71	流・早産および満期産
30	頭痛	72	成長・発達の障害
31	めまい	73	慢性疾患・複合疾患の管理
32	意識障害	74	高血圧症
33	失神	75	脂質異常症
34	言語障害	76	糖尿病
35	けいれん発作	77	骨粗鬆症
36	視力障害・視野狭窄	78	脳血管障害後遺症
37	目の充血	79	気管支喘息・COPD
38	聴覚障害	80	在宅医療
39	鼻漏・鼻閉	81	終末期のケア
40	鼻出血	82	生活習慣
41	嗝声	83	相補・代替医療（漢方医療を含む）
42	胸痛	0	最新のトピックス・その他

## 4月

## 県医・会議メモ

- 6日(水) 情報システム運営委員会〈Web〉
- 7日(木) 第1回理事会〈県医〉
- 10日(日) 日本医師会学校保健講習会〈Web〉
- 14日(木) 産業医部会運営委員会〈テレビ会議〉
- 15日(金) 第43回産業保健活動推進全国会議〈Web〉
- 21日(木) 保険医療機関指導計画打合会〈県医〉
  - 〳 生活保護法による指定医療機関個別指導 県・鳥取市合同打合会〈県医〉
  - 〳 第1回常任理事会〈県医〉
- 22日(金) 第33回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会〈Web〉
- 23日(土) 第16回日本医師会男女共同参画フォーラム〈Web〉
- 27日(水) 第8回鳥取県新型コロナに打ち克つ新しい県民生活推進会議〈Web〉
- 28日(木) 鳥取県精神保健福祉協会理事会・定期総会〈白兔会館〉

※4月の公開健康講座〈県医〉は中止しました。

### 日本医師会

# 医師年金

### —ご加入のおすすめ—

医師年金は、日本医師会が運営する医師専用の私的年金です。

日本医師会会員で満64歳6カ月未満の方が加入できます(申し込みは64歳3カ月までをお願いします)。

医師年金  
ホームページで  
ご加入時の

## 受取年金額のシミュレーションが できます!

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

豊かで安心できる将来に向けて

見落とし機能拡充 -現役引退後、公的年金だけで、現在の生活水準を維持できますか?-

医師年金シミュレーション

ご加入の際の年金額についてシミュレーションしてみましょう。

保険料からシミュレーション

受給年金からシミュレーション

マイページに登録した後、ネット上で医師年金加入の仮申し込みができます。

マイページ登録

マイページへログイン

#### 【シミュレーション方法】

トップページから「シミュレーション」に入り、ご希望の受取額や保険料、生年月日を入力すると、年金プランが表示されます。

#### 【仮申し込み方法】

「マイページ」に登録すると、ネット上で医師年金の仮申し込みが可能となります。

お問い合わせ・資料請求：日本医師会 年金福祉課 ☎03-3942-6487(直) (平日 9時半～17時)

## 会員消息

### 〈入 会〉

榎田 誠	鳥取大学医学部	04. 4. 1	深澤 達也	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
神谷 優子	さとに田園クリニック	04. 4. 1	藤岡 里奈	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
久留 一郎	米子医療センター	04. 4. 1	矢倉 和	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
遠藤 宏治	米子医療センター	04. 4. 1	安田 遼太	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
福本 宗嗣	自宅会員	04. 4. 1	山崎 佳大	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
都田 淳	都田内科医院	04. 4. 1	山本 直希	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
大野原良昌	母と子の長田産科婦人科クリニック	04. 4. 1	岡本 尚	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
田中 弘道	米子東病院	04. 4. 1	名木田優子	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
柳原 清孝	済生会境港総合病院	04. 4. 1	小倉 一能	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
渡邊 浄司	米子中海クリニック	04. 4. 1	川本 文弥	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
吉田 諒	日南病院	04. 4. 1	橋本 由徳	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
吉田 慧	鳥取県西部総合事務所 米子保健所	04. 4. 1	竹本 和弘	岩美病院	04. 4. 1
井上 幸次	日野病院	04. 4. 1	永澤 萌	岩美病院	04. 4. 1
河村 実穂	日野病院	04. 4. 4			
加藤 雅之	鳥取赤十字病院	04. 4. 1	〈退 会〉		
末田 光	鳥取赤十字病院	04. 4. 1	田中 宏征	岩美病院	04. 3. 31
青木 美帆	鳥取赤十字病院	04. 4. 1	川上 建	岩美病院	04. 3. 31
田村 丈	鳥取赤十字病院	04. 4. 1	渡邊 浄司	岩美病院	04. 3. 31
近藤 天也	鳥取赤十字病院	04. 4. 1	倉敷 朋弘	鳥取県立中央病院	04. 3. 31
嶋崎 岳	鳥取市立病院	04. 4. 1	安川 流生	鳥取赤十字病院	04. 3. 31
根津 智史	鳥取市立病院	04. 4. 1	小林 良彰	鳥取赤十字病院	04. 3. 31
大川 裕輝	鳥取市立病院	04. 4. 1	津田 晴宣	鳥取県立中央病院	04. 3. 31
神谷 礼	智頭病院	04. 4. 1	飯塚 貴裕	鳥取県立中央病院	04. 3. 31
井上 雅史	井上医院	04. 4. 1	稲垣 晃平	鳥取県立中央病院	04. 3. 31
網崎 秀史	野島病院	04. 4. 1	小嶋 駿介	鳥取県立中央病院	04. 3. 31
柴山 愛実	倉吉病院	04. 4. 1	田邊 雅琴	鳥取県立中央病院	04. 3. 31
丸山 祐輝	倉吉病院	04. 4. 1	松島 萌希	鳥取県立中央病院	04. 3. 31
足立佐千子	鳥取赤十字病院	04. 4. 1	室賀 千佳	鳥取県立中央病院	04. 3. 31
重本 凡	鳥取赤十字病院	04. 4. 1	山根 和真	鳥取県立中央病院	04. 3. 31
辻内 邦顕	鳥取赤十字病院	04. 4. 1	黒沢 洋一	鳥取大学医学部	04. 3. 31
友國晃一朗	鳥取赤十字病院	04. 4. 1	井上 幸次	鳥取大学医学部	04. 3. 31
中村 将志	鳥取赤十字病院	04. 4. 1	近藤 博史	鳥取大学医学部	04. 3. 31
中山 翼	鳥取赤十字病院	04. 4. 1	福本 宗嗣	鳥取大学医学部	04. 3. 31
國岡 順子	鳥取県立中央病院	04. 4. 1	小倉 一能	鳥取大学医学部	04. 3. 31
仲田 達弥	鳥取県立中央病院	04. 4. 1	末田 光	鳥取大学医学部	04. 3. 31
野口健太郎	鳥取県立中央病院	04. 4. 1	北尾 苑子	鳥取大学医学部	04. 3. 31
			金山 晴香	鳥取大学医学部	04. 3. 31

堂坂 怜香	鳥取大学医学部	04. 3. 31	松浦 美波	倉吉病院	04. 3. 31
湯村 正仁	鳥取県保健事業団	04. 3. 31	錦織 恭子	ミオ・ファティリティ・クリニック	04. 3. 31
長谷川 隆	博愛病院	04. 3. 31	藤原 正通	三朝温泉病院	04. 4. 6
齊藤 さや子	母と子の長田産科婦人科クリニック	04. 3. 31			
松島 嘉彦	介護老人保健施設 ゆうとぴあ	04. 3. 31	〈異 動〉		
加藤 弘之	日南病院	04. 3. 31	有馬 那帆	ウエルフェア北園渡辺病院	04. 4. 1
大塚 裕眞	日南病院	04. 3. 31		↓ 渡辺病院	
池田 紗矢	日野病院	04. 3. 31	前田 迪郎	博愛病院	04. 4. 1
永澤 萌	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31		↓ 自宅会員	
竹本 和弘	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31	長谷川純一	米子医療センター	04. 4. 1
助川 礼	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31		↓ 西伯病院	
竹田 真輝	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31	下坂 拓矢	自宅会員	04. 4. 1
加藤 雅之	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31		↓ 日野病院	
大野原良昌	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31	上平憲太郎	鳥取県立中央病院	04. 4. 1
奈良井 哲	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31		↓ 鳥取赤十字病院	
河野 友輔	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31	尾坂 妙子	智頭病院	04. 4. 1
徳田 直希	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31		↓ 鳥取市立病院	
田中 裕子	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31	神谷 剛	岩美病院	04. 4. 1
安宅 正幸	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31		↓ 鳥取県保健事業団	
西原 彰彦	鳥取県立厚生病院	04. 2. 2	金藤 大三	鳥取医療センター	04. 4. 1
木村昂一郎	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31		↓ いなば幸朋苑	
牧嶋 惇	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31	山田 健作	済生会境港総合病院	04. 4. 1
竹内 昌子	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31		↓ 山田内科医院	
世良田真弘	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31	大村 宏	米子中海クリニック	04. 4. 1
根鈴 怜治	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31		↓ 介護老人保健施設 やわらぎ	
近藤 裕介	鳥取県立厚生病院	04. 3. 31	玉井 嗣彦	日野病院	04. 4. 1
末吉駿太郎	野島病院	04. 3. 31		↓ 自宅会員	
中山 英明	藤井政雄記念病院 (ル・サンテリオン北条)	04. 3. 31			



## 会員数

### ■鳥取県医師会会員数（令和4年5月1日現在）

	東部	中部	西部	大学	合計
A1	144	70	190	0	404
A2	7	1	12	1	21
B	421	142	348	57	968
合計	572	213	550	58	1,393

A1 = 私的医療機関の開設者又は管理者である医師

A2 = 公的医療機関の管理者である医師

B = 上記以外の医師

### ■日本医師会会員数（令和4年5月1日現在）

	東部	中部	西部	大学	合計
A1	133	67	175	0	375
A2(B)	42	32	76	2	152
A2(C)	29	0	0	0	29
B	76	28	65	2	171
C	3	0	0	0	3
合計	283	127	316	4	730

A1 = 病院・診療所の開設者、管理者およびそれに準ずる会員

A2(B) = 上記A1会員およびA2会員(C)以外の会員

A2(C) = 医師法に基づく研修医

B = 日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請したC会員以外の会員

C = 医師法に基づく研修医のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員

## 保険医療機関の登録指定、廃止等

### 保険医療機関

かねこ整形外科アスリートリハビリテーションクリニック 米子市 04. 5. 7 新規

### 生活保護法による医療機関

ふくよね博愛クリニック 米子市 10526 04. 4. 1 指定

健康保険法の指定更新時には、併せて生活保護法の指定医療機関の更新手続きも忘れずに行ってください。

### 感染症法の規定による結核指定医療機関

ふくよね博愛クリニック 米子市 04. 4. 1 指定

### 原子爆弾被爆者一般疾病医療機関

ふくよね博愛クリニック 米子市 04. 4. 1 指定



ゴールデンウィークも終わり、初夏の陽気となったこの頃です。昨年、一昨年と外出を控えて静かに過ごした連休でしたが、今年はコロナ禍が収束していないとはいえ全国の観光地で多くの人出が見られたようです。我家の近くにある「青山剛昌（コナン）ふるさと館」にも長蛇の列ができ、広い駐車場も入れない車で混雑していました。いつもは閑散としている町も活気があふれ、人が多いのってやっぱり良いなとしみじみ思いました。次々変異するコロナを無くすことはできないでしょうから、何とか重症化を防いでウィズコロナで景気を取り戻したいものです。

今月号の巻頭言は「地域医療のさらなる充実を、地域医療介護総合確保基金」と題して明徳政裕先生が書かれています。2025年を展望し、病床の機能分化・連携・在宅医療・介護の推進、医療・介護従業員の確保・勤務環境の改善等が急務の課題であるため、平成26年から「地域医療介護総合確保基金」が創設され、各都道府県は計画を作成して事業を実施することになったとの事です。鳥取県として令和4年度に採択された新規3事業を始め、具体的に詳しく事業の説明が述べられていて、認識を新たにしました。

Joy! しろうさぎ通信は、「女性医師の意識調査結果と女性医師活躍への期待」と題して、昨年秋に県内女性医師を対象に行われた意識調査の結果について、松田隆子理事よりご報告がありました。家庭を持つ女性医師の働き方についての考え

方には、かなり個人差があるようですが、仕事を辞めることなく、キャリアを継続できるよう保育所・病児保育などサポート体制の更なる充実が必要と考えます。またコロナ禍の影響で普段行きにくい学会やセミナーがWeb開催になったため、参加し易く単位も取れるようになったという意見も見られたように、コロナ終息後もWebを利用することで学会・会議などいろいろな場に参画しやすくなるのではないかと思います。

病院よりは鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター 上田敬博教授より、令和4年4月1日に鳥取県より高度救命救急センターの指定を受けた事についてご紹介がありました。高度救命救急センターは通常の救命救急センターでは対応が困難なあらゆる症例の治療を行う最後の砦としての機能を有し、今回の指定で県西部だけでなく、県全域・近隣県の重症疾患の受け入れにも応えとの事です。多発外傷や熱傷を中心に現在近隣県はもとより、遠くの県からも相談がきていて、「全国から注目される高度救命救急センター」に変わりつつあるようです。鳥取県としても大変心強く、誇らしく、今後益々のご発展をお祈りいたします。

その他歌壇・柳壇・エッセイ・私の一冊・私のシネマにご寄稿いただいた先生方、各地区医師会の報告をいただいた先生方に心より感謝申し上げます。

編集委員 武 信 順 子

鳥取県医師会報の全文は、鳥取県医師会ホームページでもご覧頂けます。

<https://www.tottori.med.or.jp/>

鳥取県医師会報 第803号・令和4年5月15日発行（毎月1回15日発行）

会報編集委員会：小林 哲・辻田哲朗・太田匡彦・岡田隆好・武信順子  
中安弘幸・山根弘次・宍戸英俊・懸樋英一

● 発行者 公益社団法人 鳥取県医師会 ● 編集発行人 渡辺 憲 ● 印刷 今井印刷(株)

〒680-8585 鳥取市戎町317番地 TEL 0857-27-5566 FAX 0857-29-1578  
E-mail : kenishikai@tottori.med.or.jp URL : <https://www.tottori.med.or.jp/>

〒683-0103  
鳥取県米子市富益町8

定価 1部500円（但し、本会会員の購読料は会費に含まれています）